

由利本荘 2 期地区 畜産環境総合整備事業 G第04102号工事 (東由利堆肥センター 改修工事)

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
0-00	表紙・図面リスト	—	0-19	平面図【現況】 (堆肥舎棟)	(A1) 1/ 500 (A3) 1/1,000
A-01	建築改修工事特記仕様書 (Ⅰ)	—	A-20	屋根伏図【現況】 (堆肥舎棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400
A-02	建築改修工事特記仕様書 (Ⅱ)	—	A-21	立面図【現況】 (堆肥舎棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400
A-03	建築改修工事特記仕様書 (Ⅲ)	—	A-22	断面図【現況】 (堆肥舎棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400
A-04	建築改修工事特記仕様書 (Ⅳ)	—	A-23	矩計図【現況】 (堆肥舎棟)	(A1) 1/ 50 (A3) 1/ 100
A-05	配置図、案内図、特記事項	(A1) 1/ 500 (A3) 1/1,000	A-24	建具表【現況】 (堆肥舎棟)	(A1) 1/ 50 (A3) 1/ 100
A-06	平面図【現況】 (堆肥発酵棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400	A-25	平面図【改修】 (堆肥舎棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400
A-07	屋根伏図【現況】 (堆肥発酵棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400	A-26	屋根伏図【改修】 (堆肥舎棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400
A-08	立面図【現況】 (堆肥発酵棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400	A-27	立面図【改修】 (堆肥舎棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400
A-09	断面図【現況】 (堆肥発酵棟)	(A1) 1/ 50 (A3) 1/ 100	A-28	断面図【改修】 (堆肥舎棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400
A-10	矩計図 1【現況】 (堆肥発酵棟)	(A1) 1/ 50 (A3) 1/ 100	A-29	矩計図【改修】 (堆肥舎棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400
A-11	矩計図 2【現況】 (堆肥発酵棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400	A-30	建具表【改修】 (堆肥舎棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400
A-12	建具表【現況】 (堆肥発酵棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400			
A-13	平面図【改修】 (堆肥発酵棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400	E-01	電気設備改修工事特記仕様書	—
A-14	屋根伏図【改修】 (堆肥発酵棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400	E-02	堆肥発酵棟 電気設備図【現況、改修】	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400
A-15	立面図【改修】 (堆肥発酵棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400	E-03	堆肥舎棟 電気設備図【現況、改修】	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400
A-16	矩計図 1【改修】 (堆肥発酵棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400			
A-17	矩計図 2【改修】 (堆肥発酵棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400			
A-18	建具表【改修】 (堆肥発酵棟)	(A1) 1/ 200 (A3) 1/ 400			(計 34枚)

建築改修工事特記仕様書（Ⅰ） （令和8年改訂版）		章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																																																								
I 工事概要 1 工事名 由利本荘2期地区 畜産環境総合整備事業 G第04102号工事 2 工事場所 由利本荘東由利町字赤坂 市内 3 用途地域等 都市計画区域 ()内 ()外 用途地域 () 防火地域等 () その他地域・区域 () 4 主要用途 堆肥舎 5 敷地面積 9,363 m ² 6 その他の条件 垂直積雪量(m) 1.05m 風速(Vo) 30・32・34 地表面積区分 ()・()・() 7 改修内容(対象棟、工事種別、改修部位等) 対象棟構造規模 対象棟構造規模 <table border="1"><thead><tr><th>種</th><th>増設発酵棟</th><th>増設畜舎</th><th>浄化処理棟</th></tr></thead><tbody><tr><td>構造</td><td>木造</td><td>木造</td><td>木造</td></tr><tr><td>階数</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>床面積</td><td>2,138.06 m²</td><td>462.72 m²</td><td>70.145 m²</td></tr><tr><td>延床面積</td><td>2,136.15 m²</td><td>462.72 m²</td><td>63.530 m²</td></tr></tbody></table> 工事概要 <増設発酵棟> ・屋根材の厚0.8 m ² がネット板張り(真鍮製暖房用)の全面葺替え SUS ¹ φ5mm L=35mm止 ・外壁材の厚0.8 m ² がネット板張り(真鍮製暖房用)の全面葺替え SUS ¹ φ5mm L=35mm止 ・床コナリ及び壁張りコナリのつかりの補修(施工前調査による) ・木造組組及び小屋組の構造用金物の増強。但し、鉄骨柱及び鉄骨梁の接合部を除く ・鉄骨柱の柱脚の補強(Y2通り)の増強。 ・木製ハンガー戸のハコ ¹ ー ¹ ル及び戸車等の修繕(WD2、WD3) ・7A製引込戸(AD1)3か所の外部差し扉の木材保護塗料塗り <増設畜舎> ・屋根材の一部葺替え(新規立平葺き X7→X9付近)、屋根材の軒先の張替え(既存品 再使用) ・軽金属の更新(SS1増設畜舎)、(SS10 浄化処理棟) ・木造組組及び小屋組の構造用金物の増強		種	増設発酵棟	増設畜舎	浄化処理棟	構造	木造	木造	木造	階数				床面積	2,138.06 m ²	462.72 m ²	70.145 m ²	延床面積	2,136.15 m ²	462.72 m ²	63.530 m ²	1 一般共通事項 ① 受注者希望型 (1)本工事は、秋田県女性技術者活躍モデル工事(受注者希望型)であるため女性技術者登用を希望する場合は、発注者と協議を行い、実施について発注者が認めた指示を受けた場合は、本工事をモデル工事として扱うものとする。 (2)モデル工事の実施については、「秋田県女性技術者活躍モデル工事実施要項」に基づいて実施するものとする。 (3)快適トイレの設置に要する費用は、「快適トイレ実施要項」に基づき設計変更の対象とする。 (4)女性が現場で働くための環境改善に資する施設等に要した費用については、それを証明できる書類の写し(実際の取引伝票等)を監督職員に提出するものとし、その費用については設計変更の対象とする。 9 電気保安技術者 配置する (1. 3. 3) 10 週休2日制工事の対象 本工事は、「秋田県週休2日制工事実施要項」及び「秋田県週休2日制工事に関する宮崎課運用」に基づいて実施する。 ※完全週休2日(土日)工事 ・月単位の週休2日工事 ⑪ 施工条件 標準工事による施工時期の調整 (有(内容:))無(1. 3. 5) 施工時期・時間の制限 ※指定しない () 個別仕工程序 ※指定しない () 工事用車両の駐車場所 (有(表示又は協議による))無 資機材置場所 (有(表示又は協議による))無 関係機関等との協議の未成立事項 (有(内容:))無 関係機関等との協議結果 (有(内容:))無 ⑫ 施工中の環境保全等 「低騒音型・低振動型建設機械に関する規定(平成9年建設省告示第1536号)」に基づき、指定された建設機械を使用する。 (1. 3. 11) 「建設機械に関する技術指針(平成3年建設省通知第247号)」に基づき、指定された排出ガス発生建設機械を使用する。 (1. 3. 11) ⑬ 発生材の処理等 特定建設資材廃棄物の発生材の処理 (1. 3. 12) <table border="1"><thead><tr><th>種別</th><th>再資源化等をすすめる施設名・住所・搬出距離(km)</th></tr></thead><tbody><tr><td>建設発生土</td><td></td></tr><tr><td>コンクリート塊</td><td></td></tr><tr><td>アスファルト塊</td><td></td></tr><tr><td>建設発生木材</td><td>横クリンカンパニー 雄勝郡後新町字大又 15km</td></tr></tbody></table> 特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理 (1. 3. 12) <table border="1"><thead><tr><th>種類</th><th>処分施設名</th><th>住所・搬出距離(km)</th></tr></thead><tbody><tr><td>アスファルト塊</td><td>横クリンカンパニー</td><td>雄勝郡後新町字大又 15km</td></tr><tr><td>金属類</td><td>秋山本産業 横手市杉沢字中杉沢</td><td>33km</td></tr></tbody></table> 引き渡すに要するもの (1. 3. 12) 現場再発生材 (有())無 特別管理産業廃棄物 (有())無 (1. 3. 12) 各種発生材 (有())無 受入施設名 秋田県環境安全センター(大仙市仙石上渡川) km 飛散性石粉の使用状況 <table border="1"><thead><tr><th>室名</th><th>使用部位</th><th>詳細(厚さ等)</th><th>その他</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 非飛散性石粉成形品の使用状況 <table border="1"><thead><tr><th>室名</th><th>使用部位</th><th>詳細(厚さ等)</th><th>その他</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> PCB含有製品の処理 ・PCB(ポリ塩化ビフェニル)含有機器 (有())無 の場合、高汚染機器等のPCB含有する機器は、当該部分を外し、廃棄の恐れのない安全な時期に納め、所定の表示を行い、監督職員の指示に基づき建設管理責任者による処理すること。 ・PCB含有シリリング材 (有())無 ・不明(含有分析検査を行う) CCA処理木材及び石膏ボード製品の処分について (該当) 非該当 に該当する場合は、指定する場所に処分すること。 <table border="1"><thead><tr><th>種類</th><th>処分管理する施設名(住所) 搬出距離(km)</th></tr></thead><tbody><tr><td>・CCA処理木材</td><td></td></tr><tr><td>・石膏入り石膏ボード</td><td>※管理型最終処分場で埋立処分すること (小浜西浜石置場いわき工場 昭和48年3月～平成3年4月に設置) 大仙市仙石上渡川 km</td></tr><tr><td>・カドミウム含有石膏ボード</td><td>※管理型最終処分場で埋立処分すること (日東石膏ボード南八戸工場 平成4年10月～平成3年4月に設置) 大仙市仙石上渡川 km</td></tr></tbody></table> 建設副産物情報交換システム(コプリス・プラス)の利用 適用しない 搬入する建設発生材 (1. 3. 12) 本工事は、コンクリート、コンクリート及び鉄骨から成る建設発生材、木材、アスファルト混合物等で次級の建設発生材を工事現場に搬入する場合には、「再生資源利用計画書」を建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成し、施工計画書に含めて監督職員に提出する。また、その内容を説明のうえ、工事現場の見やすい場所に提示する。 加えて、建設発生土を「再生資源利用計画」に記載した搬入元から搬出したときは、所定の様式「秋田県技術管理課HP」に建設発生土の適正利用について(土砂受領書)により速やかに搬入元を受領書を交付するものとする。 次の各号の一に該当する建設発生材を搬入する工事 1 体積が500m ³ 以上である土砂 2 重量が500t以上である砕石 3 重量が200t以上である加熱アスファルト混合物 4 重量が50t以上であるコンクリート 5 重量が50t以上であるコンクリート及び鉄骨から成る建設発生材 6 重量が10t以上である木材 7 重量が0.1t以上である塩化ビニール管・継手 8 重量が0.1t以上である石膏ボード 搬出する建設発生材 (1. 3. 12) 本工事は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設発生土または建設発生材等から成る建設発生材を工事現場から搬出する場合には、「再生資源利用計画書」を建設副産物情報交換システム(コプリス・プラス)により作成し、施工計画書に含めて監督職員に提出する。また、その内容を説明のうえ、工事現場の見やすい場所に提示する。 加えて、建設発生土を搬出する工事において「再生資源利用計画書」を作成する場合は、以下の各項目に関しても実施するものとする。 (1)500m ³ 以上の建設発生土を搬出する工事においては、「土壌汚染対策法の手続きの状況」及び「建設発生土の搬出先における廃土処理などの各種	種別	再資源化等をすすめる施設名・住所・搬出距離(km)	建設発生土		コンクリート塊		アスファルト塊		建設発生木材	横クリンカンパニー 雄勝郡後新町字大又 15km	種類	処分施設名	住所・搬出距離(km)	アスファルト塊	横クリンカンパニー	雄勝郡後新町字大又 15km	金属類	秋山本産業 横手市杉沢字中杉沢	33km	室名	使用部位	詳細(厚さ等)	その他					室名	使用部位	詳細(厚さ等)	その他					種類	処分管理する施設名(住所) 搬出距離(km)	・CCA処理木材		・石膏入り石膏ボード	※管理型最終処分場で埋立処分すること (小浜西浜石置場いわき工場 昭和48年3月～平成3年4月に設置) 大仙市仙石上渡川 km	・カドミウム含有石膏ボード	※管理型最終処分場で埋立処分すること (日東石膏ボード南八戸工場 平成4年10月～平成3年4月に設置) 大仙市仙石上渡川 km	1 一般共通事項 ① 技能士 適用する (1. 7. 2) 適用職種(一級、準一級の職種作業) とび()及び作業 鉄筋施工()鉄筋組立作業 コンクリート圧送施工() コンクリート圧送工事作業 型枠施工()型枠工事作業 鉄骨()構造物取組作業 ブロック建築()コンクリートブロック工事作業 ALの()内張り施工 ()ALの()内張り施工 防水施工()アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系建築防水工事作業 アクリル系系建築防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニール系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業 ユーリウム防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業 FRP防水工事作業 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 石材施工()石張り作業 タイル張り()タイル張り作業 建築大工()大工工事作業 建築板金()内外板金作業 左官()左官作業 内装仕上げ施工()調下地工事作業 サッシ施工()左官用サッシ施工作業 自動ドア施工()自動ドア施工 ガラス施工()ガラス工事作業 カーテンウォール施工()金属製カーテンウォール工事作業 塗装()建築塗装作業 内装仕上げ施工()プラスチック系床仕上げ工事作業、カーペット系床仕上げ工事作業、木質系床仕上げ工事作業、ポド仕上げ工事作業 表装()内装作業 熱線断熱工()吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業 内装仕上げ施工()カーテン工事作業 路面表示施工()滑動ペイントハンドマーカー工事作業・加熱ペイントマシンマーカー工事作業 造園()造園工事作業 22 見本施工 仕上げの程度が判断ができる見本施工の実施 (1. 7. 5) 実施する部位: 23 化学物質の濃度測定 次の室の揮発性有機化合物等の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告すること。 (1. 7. 9) 測定対象化学物質:ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン 測定対象室は、原則として全ての居室及び常時換気をしない書庫、倉庫等(改修工事においては、内装改修等を行った室に限る)とする。使用しない材料、室の形状、換気設備等の仕様は類似しており同様の測定結果となること が想定される複数の室については、そのうち3室以上を測定してよい。 測定箇所数は、次に示す。また、全ての測定箇所においてホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びステレンの濃度を同時に測定する。 <table border="1"><thead><tr><th>室の床面積A(m²)</th><th>A ≤ 50</th><th>50 < A ≤ 200</th><th>200 < A ≤ 500</th><th>500 < A</th></tr></thead><tbody><tr><td>測定箇所数</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr></tbody></table> 測定方法:測定は、パッシブ型採取機器を用いる。採取機器、及び汚染要領については監督職員の指示による。 24 技術検査 (1. 8. 2) <table border="1"><thead><tr><th>回数</th><th>中間検査の時期</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回</td><td></td></tr><tr><td>第2回</td><td></td></tr></tbody></table> 26 完成図書等 完成検査時に、次の完成図書等を送やかに監督職員へ提出する。 (1. 9. 1) 部数枚数 製本1部 A4版 函装綴じハードカバー 写真4幅程度 綴じこむもの (1) 完成図書(意匠図及び構造図) (2) 完成図及施工図(原寸) ニッ折りに製本したもの (3) 構造計算書 (4) 保全に関する資料 (5) 電子部品対象工事については、電子媒体 (6) その他監督職員が指示するもの 添付するもの A3版縮小図面(配置図、平面図、立面図、仕上表、一般断面図)とする。 27 設備工事との取合い 施工範囲 建築工事特記仕様書の区分表又は工事区分表(図示)による。 施工図 設備機種の仕様・取付等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承認を受けること。 28 契約不適合点検 契約事項による契約不適合期間満了前に契約不適合点検を行うので受注者は立会うこと。 29 環境への配慮 受注者は監督職員と協議を行い、県定める環境方針を具体的に公共事業に反映させるよう努めなければならない。 30 快適トイレ導入対象 (1) 設置に要する費用は、当初計上していない。 (2) 受注者は、快適トイレの設置にあたっては、「快適トイレ実施要項」に基づき、監督職員と協議の上、規格・基数等の詳細について決定することし、清算発注時に合わせて、支出実施のわかる資料により、設計変更の発注と併せて、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2工事までとする。 また、運搬費は共通仮設費(率)に含むものとし、2基より多く設置する場合や、積算上取組を要する費用については別途計上は行わない。 31 法定外の労務保険 本工事において、受注者は法定外の労務保険の付さなければならない。 32 地下埋設物の損傷事故防止について ○ 本工事は、「地下埋設物・架空線等上空施設の損傷事故防止マニュアル(営繕工事)(令和7年2月)秋田県建設部宮崎課」により、公災災害等の事故防止対策を実施するものとする。 ・ 本工事と近接する地下埋設物は以下のとおりである。 <table border="1"><thead><tr><th>地下埋設物の種類</th><th>管理者</th><th>条件等</th><th>参考する資料</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	室の床面積A(m ²)	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A	測定箇所数	1	2	3	4	回数	中間検査の時期	第1回		第2回		地下埋設物の種類	管理者	条件等	参考する資料					1 一般共通事項 ⑬ 架空線等上空施設の損傷事故防止について ○ 架空線等上空施設が工事現場内にある場合は、「地下埋設物・架空線等上空施設の損傷事故防止マニュアル(営繕工事)(令和7年2月)秋田県建設部宮崎課」により、公災災害等の事故防止対策を実施するものとする。 <table border="1"><thead><tr><th>施設の種類</th><th>所有者</th><th>条件等</th><th>参考する資料</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ⑭ 仮囲い 設ける(位置、延長等は図示) ・万能鋼板(H=) ・透板鉄板(H=) ・単管シート(H=) ・シートゲート(H=)、W=) × カ所 2 騒音・粉じん等の対策 防音パネル、防音シート ・設ける(位置、延長等は図示による) 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲・図示による。 ⑮ 足場等 内部足場 脚立、足場板等・くさび型組式足場 ○ 移動式足場 (2. 2. 1) 外部足場 ※移動式足場(※手すり先行工法、その他) ○ さび止め組式足場(※手すり先行工法、その他) 設置範囲()図示による。 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省令和7年12月26日策定)」により、設置については「手すり先行工法による足場の組立て作業に関する基準」における2の(1)手すり設置方式又は2の(2)手すり先行専用足場とする。 防護シート ※設ける(設置範囲) 図示による () ・設けない材料、撤去材料等の運搬方法 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 C種:利用可能なエレベーター 図示による D種:利用可能な階段 図示による ⑯ 既存部分の養生 既存部分の養生 ※ビニールシート等 (2. 3. 1) 既存家具等の養生 ※ビニールシート等 () 機具、機、ロッカー等の移動、行う()図示による () ※行わない 既存ブランド、カーテン等養生及び保管場所 () 養生を行う(養生の方法:) 保管場所: () 養生を行わない 既存部分に汚染又は損傷を与える恐れのある部分は養生を行う。 また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行うものとする。 ⑰ 仮設間仕切り 仮設間仕切り (2. 3. 2) ・設ける () 仮設扉 ・設ける ※合板張り木製扉 () (詳細は図示による) ⑱ 監督職員事務所 規模: ・10m ² 程度・20m ² 程度・35m ² 程度・65m ² 程度・100m ² 程度 ・受注者事務所中に監督職員用スペース()m ² 程度確保。 機具: 机、いす、書棚、黒板、びん入れ、両面鏡、仮設機、安全帯、冷暖房機器 その他監督職員が指示するもの。 縮小製本を購入の場合は()部 ⑳ 工事用水及び電力 工事用水 構内既存の施設・利用できる(※有償・無償) ○ 利用できる() ○ 利用できない () 工事用電力 構内既存の施設・利用できる(※有償・無償) ○ 利用できる() ○ 利用できない () ㉑ 工事表示板の設置 監督職員が指定する位置に一箇所設置する。(2. 4. 1) 表示時期は工事着工時から完了時までとする。 表示板の形式 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2">建築工事の表示</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事名称</td><td>由利本荘2期地区 畜産環境総合整備事業 G第04102号工事</td></tr><tr><td>構造・規模</td><td>木造 平屋建て 延べ床面積 2,662.04 m²</td></tr><tr><td>建築業者</td><td>(公) 秋田県農産公社</td></tr><tr><td>設計者</td><td>(公) 秋田建設業</td></tr><tr><td>工事監督者</td><td>(公) 秋田建設業</td></tr><tr><td>工事施工者</td><td>(公) 秋田建設業</td></tr></tbody></table> 注1 表示板は、風圧に耐えるよう配慮すること。 2 表示は、マンセル記号GY.7.5/8とし黒文字(角ゴシック)で表現する。 3 建築士は、契約担当者名とする。 4 表示の大きさ ※1号(幅100cm×縦90cm)・2号(幅240cm×縦120cm) ※3号(幅360cm×縦180cm)・その他() ※建設用サインカラー法遵守指導としての「届出(通知)済シール」を建設業許可機関等に貼付すること。 ㉒ 工事概要の表示 表示する 表示のイメージがわかるようパス等を活用して表示する。 (サイズ: 800×900 カラーコピー用A3用紙加工) ㉓ 建設発生土の処理 本工事で発生する建設発生土は、次の場所に搬出するものと想定している。 (1) 建設発生土は、搬出先において、手続した条件により異なる場合は、別途協議する。 建設発生土量 () m ³ 発生場所 () 搬出先距離 () km 搬出条件 () 搬入条件 () ・構内指示の場所に搬出する。 ・構内指示の場所には搬出する。 ・構内指示の場所に搬出しない。	施設の種類	所有者	条件等	参考する資料					建築工事の表示		工事名称	由利本荘2期地区 畜産環境総合整備事業 G第04102号工事	構造・規模	木造 平屋建て 延べ床面積 2,662.04 m ²	建築業者	(公) 秋田県農産公社	設計者	(公) 秋田建設業	工事監督者	(公) 秋田建設業	工事施工者	(公) 秋田建設業
種	増設発酵棟	増設畜舎	浄化処理棟																																																																																																														
構造	木造	木造	木造																																																																																																														
階数																																																																																																																	
床面積	2,138.06 m ²	462.72 m ²	70.145 m ²																																																																																																														
延床面積	2,136.15 m ²	462.72 m ²	63.530 m ²																																																																																																														
種別	再資源化等をすすめる施設名・住所・搬出距離(km)																																																																																																																
建設発生土																																																																																																																	
コンクリート塊																																																																																																																	
アスファルト塊																																																																																																																	
建設発生木材	横クリンカンパニー 雄勝郡後新町字大又 15km																																																																																																																
種類	処分施設名	住所・搬出距離(km)																																																																																																															
アスファルト塊	横クリンカンパニー	雄勝郡後新町字大又 15km																																																																																																															
金属類	秋山本産業 横手市杉沢字中杉沢	33km																																																																																																															
室名	使用部位	詳細(厚さ等)	その他																																																																																																														
室名	使用部位	詳細(厚さ等)	その他																																																																																																														
種類	処分管理する施設名(住所) 搬出距離(km)																																																																																																																
・CCA処理木材																																																																																																																	
・石膏入り石膏ボード	※管理型最終処分場で埋立処分すること (小浜西浜石置場いわき工場 昭和48年3月～平成3年4月に設置) 大仙市仙石上渡川 km																																																																																																																
・カドミウム含有石膏ボード	※管理型最終処分場で埋立処分すること (日東石膏ボード南八戸工場 平成4年10月～平成3年4月に設置) 大仙市仙石上渡川 km																																																																																																																
室の床面積A(m ²)	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A																																																																																																													
測定箇所数	1	2	3	4																																																																																																													
回数	中間検査の時期																																																																																																																
第1回																																																																																																																	
第2回																																																																																																																	
地下埋設物の種類	管理者	条件等	参考する資料																																																																																																														
施設の種類	所有者	条件等	参考する資料																																																																																																														
建築工事の表示																																																																																																																	
工事名称	由利本荘2期地区 畜産環境総合整備事業 G第04102号工事																																																																																																																
構造・規模	木造 平屋建て 延べ床面積 2,662.04 m ²																																																																																																																
建築業者	(公) 秋田県農産公社																																																																																																																
設計者	(公) 秋田建設業																																																																																																																
工事監督者	(公) 秋田建設業																																																																																																																
工事施工者	(公) 秋田建設業																																																																																																																

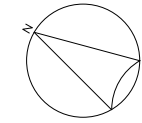
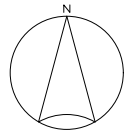
建築改修工事特記仕様書(Ⅱ) (令和8年改訂版)	
章 項目	特記事項
③ 防水改修工事	<p>① 降雨等に対する養生方法</p> <p>2 既存防水層の処理</p> <p>3 アスファルト防水</p> <p>4 改質アスファルトシート防水</p>

特記事項	
5 合成高分子ルーフィングシート防水	<p>防水層の種類</p> <p>改修工法</p> <p>断材</p> <p>仕上材料</p> <p>備考</p> <p>断材の種類</p> <p>断材の仕様</p> <p>断材の厚さ</p> <p>断材の長さ</p> <p>断材の幅</p> <p>断材の重量</p> <p>断材の施工</p> <p>断材の保管</p> <p>断材の廃棄</p> <p>断材の再利用</p> <p>断材の処分</p> <p>断材の回収</p> <p>断材の運搬</p> <p>断材の積み</p> <p>断材の積み方</p> <p>断材の積み高さ</p> <p>断材の積み幅</p> <p>断材の積み長さ</p> <p>断材の積み重量</p> <p>断材の積み回数</p> <p>断材の積み時間</p> <p>断材の積み場所</p> <p>断材の積み方法</p> <p>断材の積み順序</p> <p>断材の積み方向</p> <p>断材の積み角度</p> <p>断材の積み高さ</p> <p>断材の積み幅</p> <p>断材の積み長さ</p> <p>断材の積み重量</p> <p>断材の積み回数</p> <p>断材の積み時間</p> <p>断材の積み場所</p> <p>断材の積み方法</p> <p>断材の積み順序</p> <p>断材の積み方向</p> <p>断材の積み角度</p>
6 塗膜防水	<p>防水層の種類</p> <p>改修工法</p> <p>断材</p> <p>仕上材料</p> <p>備考</p> <p>断材の種類</p> <p>断材の仕様</p> <p>断材の厚さ</p> <p>断材の長さ</p> <p>断材の幅</p> <p>断材の重量</p> <p>断材の施工</p> <p>断材の保管</p> <p>断材の廃棄</p> <p>断材の再利用</p> <p>断材の処分</p> <p>断材の回収</p> <p>断材の運搬</p> <p>断材の積み</p> <p>断材の積み方</p> <p>断材の積み高さ</p> <p>断材の積み幅</p> <p>断材の積み長さ</p> <p>断材の積み重量</p> <p>断材の積み回数</p> <p>断材の積み時間</p> <p>断材の積み場所</p> <p>断材の積み方法</p> <p>断材の積み順序</p> <p>断材の積み方向</p> <p>断材の積み角度</p>
① シーリング	<p>シーリング改修工法の種類</p> <p>シーリング材の種類</p> <p>シーリング材の仕様</p> <p>シーリング材の厚さ</p> <p>シーリング材の長さ</p> <p>シーリング材の幅</p> <p>シーリング材の重量</p> <p>シーリング材の施工</p> <p>シーリング材の保管</p> <p>シーリング材の廃棄</p> <p>シーリング材の再利用</p> <p>シーリング材の処分</p> <p>シーリング材の回収</p> <p>シーリング材の運搬</p> <p>シーリング材の積み</p> <p>シーリング材の積み方</p> <p>シーリング材の積み高さ</p> <p>シーリング材の積み幅</p> <p>シーリング材の積み長さ</p> <p>シーリング材の積み重量</p> <p>シーリング材の積み回数</p> <p>シーリング材の積み時間</p> <p>シーリング材の積み場所</p> <p>シーリング材の積み方法</p> <p>シーリング材の積み順序</p> <p>シーリング材の積み方向</p> <p>シーリング材の積み角度</p>

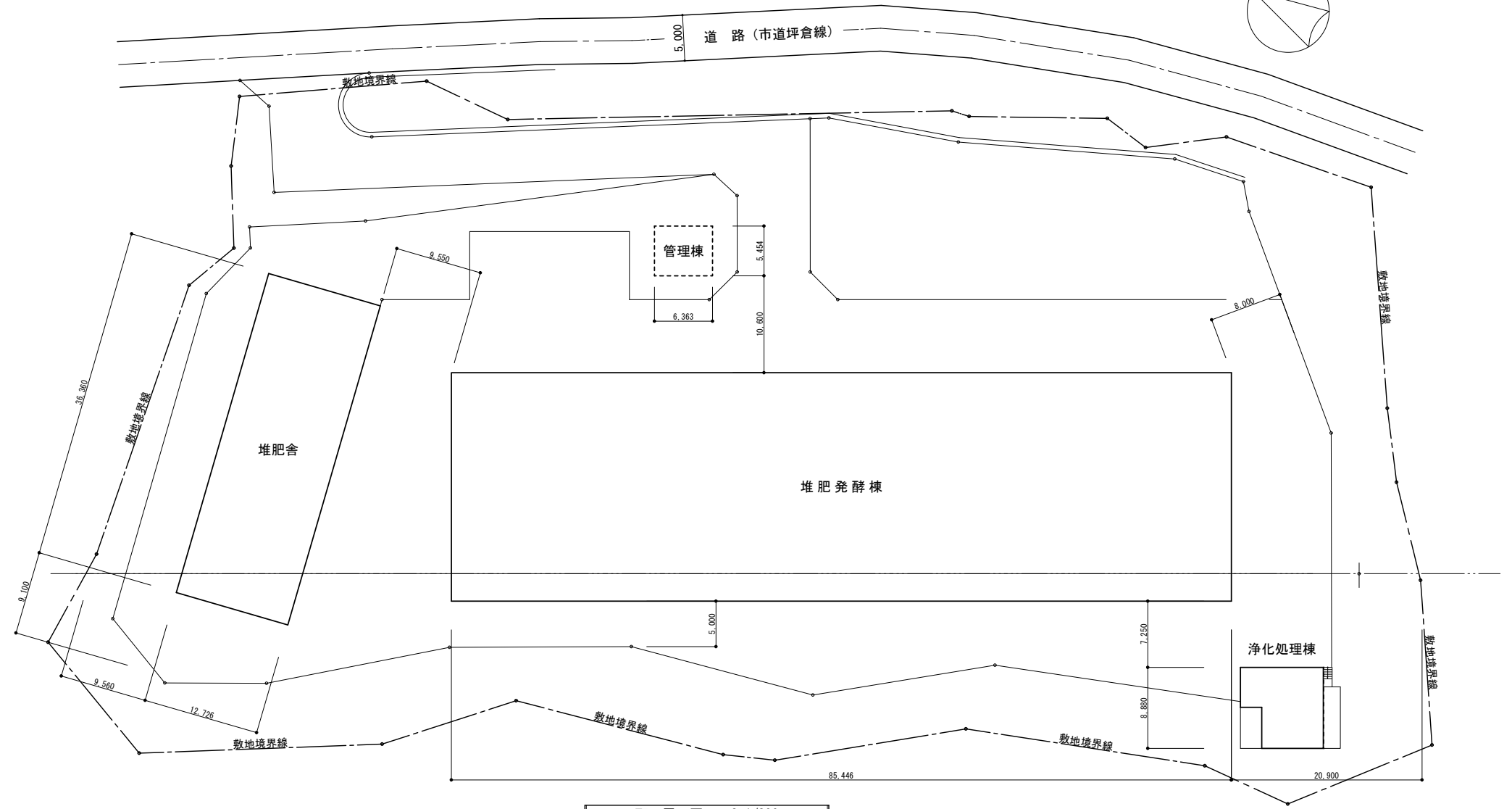
項目	
8 とい	<p>その他の材料</p> <p>ルーフドレインの材料</p> <p>ルーフドレインの仕様</p> <p>ルーフドレインの厚さ</p> <p>ルーフドレインの長さ</p> <p>ルーフドレインの幅</p> <p>ルーフドレインの重量</p> <p>ルーフドレインの施工</p> <p>ルーフドレインの保管</p> <p>ルーフドレインの廃棄</p> <p>ルーフドレインの再利用</p> <p>ルーフドレインの処分</p> <p>ルーフドレインの回収</p> <p>ルーフドレインの運搬</p> <p>ルーフドレインの積み</p> <p>ルーフドレインの積み方</p> <p>ルーフドレインの積み高さ</p> <p>ルーフドレインの積み幅</p> <p>ルーフドレインの積み長さ</p> <p>ルーフドレインの積み重量</p> <p>ルーフドレインの積み回数</p> <p>ルーフドレインの積み時間</p> <p>ルーフドレインの積み場所</p> <p>ルーフドレインの積み方法</p> <p>ルーフドレインの積み順序</p> <p>ルーフドレインの積み方向</p> <p>ルーフドレインの積み角度</p>
9 アルミニウム製窓木	<p>種類</p> <p>仕様</p> <p>断材</p> <p>仕上材料</p> <p>備考</p> <p>断材の種類</p> <p>断材の仕様</p> <p>断材の厚さ</p> <p>断材の長さ</p> <p>断材の幅</p> <p>断材の重量</p> <p>断材の施工</p> <p>断材の保管</p> <p>断材の廃棄</p> <p>断材の再利用</p> <p>断材の処分</p> <p>断材の回収</p> <p>断材の運搬</p> <p>断材の積み</p> <p>断材の積み方</p> <p>断材の積み高さ</p> <p>断材の積み幅</p> <p>断材の積み長さ</p> <p>断材の積み重量</p> <p>断材の積み回数</p> <p>断材の積み時間</p> <p>断材の積み場所</p> <p>断材の積み方法</p> <p>断材の積み順序</p> <p>断材の積み方向</p> <p>断材の積み角度</p>
10 施工	<p>屋根防水工完了後、仕様、施工業者名、完成年月日を記載した施工書を監督者の指示する位置に取り付ける。</p> <p>仕 様</p> <p>完成 年月日</p> <p>施 工 者</p> <p>施工量は、縦85mm、横125mm程度とする。</p>
① 施工数量調査	<p>外壁改修工事の数量調査</p> <p>調査範囲</p> <p>調査内容</p> <p>調査方法</p> <p>調査結果</p> <p>調査報告書</p>
① ひび割れ部改修工法	<p>ひび割れ部改修工法</p> <p>ひび割れの種類</p> <p>ひび割れの幅</p> <p>ひび割れの長さ</p> <p>ひび割れの深さ</p> <p>ひび割れの形状</p> <p>ひび割れの位置</p> <p>ひび割れの発生原因</p> <p>ひび割れの発生時期</p> <p>ひび割れの発生場所</p> <p>ひび割れの発生方向</p> <p>ひび割れの発生角度</p>
2 欠損部改修工法	<p>欠損部改修工法</p> <p>欠損の種類</p> <p>欠損の幅</p> <p>欠損の長さ</p> <p>欠損の深さ</p> <p>欠損の形状</p> <p>欠損の位置</p> <p>欠損の発生原因</p> <p>欠損の発生時期</p> <p>欠損の発生場所</p> <p>欠損の発生方向</p> <p>欠損の発生角度</p>
1 ひび割れ部改修工法	<p>ひび割れ部改修工法</p> <p>ひび割れの種類</p> <p>ひび割れの幅</p> <p>ひび割れの長さ</p> <p>ひび割れの深さ</p> <p>ひび割れの形状</p> <p>ひび割れの位置</p> <p>ひび割れの発生原因</p> <p>ひび割れの発生時期</p> <p>ひび割れの発生場所</p> <p>ひび割れの発生方向</p> <p>ひび割れの発生角度</p>
2 欠損部改修工法	<p>欠損部改修工法</p> <p>欠損の種類</p> <p>欠損の幅</p> <p>欠損の長さ</p> <p>欠損の深さ</p> <p>欠損の形状</p> <p>欠損の位置</p> <p>欠損の発生原因</p> <p>欠損の発生時期</p> <p>欠損の発生場所</p> <p>欠損の発生方向</p> <p>欠損の発生角度</p>
3 浮き部改修工法	<p>浮き部改修工法</p> <p>浮きの種類</p> <p>浮きの幅</p> <p>浮きの長さ</p> <p>浮きの深さ</p> <p>浮きの形状</p> <p>浮きの位置</p> <p>浮きの発生原因</p> <p>浮きの発生時期</p> <p>浮きの発生場所</p> <p>浮きの発生方向</p> <p>浮きの発生角度</p>

項目	
2 欠損部改修工法	<p>欠損部改修工法</p> <p>欠損の種類</p> <p>欠損の幅</p> <p>欠損の長さ</p> <p>欠損の深さ</p> <p>欠損の形状</p> <p>欠損の位置</p> <p>欠損の発生原因</p> <p>欠損の発生時期</p> <p>欠損の発生場所</p> <p>欠損の発生方向</p> <p>欠損の発生角度</p>
3 浮き部改修工法	<p>浮き部改修工法</p> <p>浮きの種類</p> <p>浮きの幅</p> <p>浮きの長さ</p> <p>浮きの深さ</p> <p>浮きの形状</p> <p>浮きの位置</p> <p>浮きの発生原因</p> <p>浮きの発生時期</p> <p>浮きの発生場所</p> <p>浮きの発生方向</p> <p>浮きの発生角度</p>
1 ひび割れ部改修工法	<p>ひび割れ部改修工法</p> <p>ひび割れの種類</p> <p>ひび割れの幅</p> <p>ひび割れの長さ</p> <p>ひび割れの深さ</p> <p>ひび割れの形状</p> <p>ひび割れの位置</p> <p>ひび割れの発生原因</p> <p>ひび割れの発生時期</p> <p>ひび割れの発生場所</p> <p>ひび割れの発生方向</p> <p>ひび割れの発生角度</p>
2 欠損部改修工法	<p>欠損部改修工法</p> <p>欠損の種類</p> <p>欠損の幅</p> <p>欠損の長さ</p> <p>欠損の深さ</p> <p>欠損の形状</p> <p>欠損の位置</p> <p>欠損の発生原因</p> <p>欠損の発生時期</p> <p>欠損の発生場所</p> <p>欠損の発生方向</p> <p>欠損の発生角度</p>
3 浮き部改修工法	<p>浮き部改修工法</p> <p>浮きの種類</p> <p>浮きの幅</p> <p>浮きの長さ</p> <p>浮きの深さ</p> <p>浮きの形状</p> <p>浮きの位置</p> <p>浮きの発生原因</p> <p>浮きの発生時期</p> <p>浮きの発生場所</p> <p>浮きの発生方向</p> <p>浮きの発生角度</p>

項目	
4 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁改修)	<p>アンカーピン</p> <p>タイル張り</p> <p>タイルの種類</p> <p>タイルの仕様</p> <p>タイルの厚さ</p> <p>タイルの長さ</p> <p>タイルの幅</p> <p>タイルの重量</p> <p>タイルの施工</p> <p>タイルの保管</p> <p>タイルの廃棄</p> <p>タイルの再利用</p> <p>タイルの処分</p> <p>タイルの回収</p> <p>タイルの運搬</p> <p>タイルの積み</p> <p>タイルの積み方</p> <p>タイルの積み高さ</p> <p>タイルの積み幅</p> <p>タイルの積み長さ</p> <p>タイルの積み重量</p> <p>タイルの積み回数</p> <p>タイルの積み時間</p> <p>タイルの積み場所</p> <p>タイルの積み方法</p> <p>タイルの積み順序</p> <p>タイルの積み方向</p> <p>タイルの積み角度</p>
4 目地改修工法	<p>目地改修工法</p> <p>目地の種類</p> <p>目地の仕様</p> <p>目地の厚さ</p> <p>目地の長さ</p> <p>目地の幅</p> <p>目地の重量</p> <p>目地の施工</p> <p>目地の保管</p> <p>目地の廃棄</p> <p>目地の再利用</p> <p>目地の処分</p> <p>目地の回収</p> <p>目地の運搬</p> <p>目地の積み</p> <p>目地の積み方</p> <p>目地の積み高さ</p> <p>目地の積み幅</p> <p>目地の積み長さ</p> <p>目地の積み重量</p> <p>目地の積み回数</p> <p>目地の積み時間</p> <p>目地の積み場所</p> <p>目地の積み方法</p> <p>目地の積み順序</p> <p>目地の積み方向</p> <p>目地の積み角度</p>
5 タイルの形状・寸法	<p>タイルの形状・寸法</p> <p>タイルの種類</p> <p>タイルの仕様</p> <p>タイルの厚さ</p> <p>タイルの長さ</p> <p>タイルの幅</p> <p>タイルの重量</p> <p>タイルの施工</p> <p>タイルの保管</p> <p>タイルの廃棄</p> <p>タイルの再利用</p> <p>タイルの処分</p> <p>タイルの回収</p> <p>タイルの運搬</p> <p>タイルの積み</p> <p>タイルの積み方</p> <p>タイルの積み高さ</p> <p>タイルの積み幅</p> <p>タイルの積み長さ</p> <p>タイルの積み重量</p> <p>タイルの積み回数</p> <p>タイルの積み時間</p> <p>タイルの積み場所</p> <p>タイルの積み方法</p> <p>タイルの積み順序</p> <p>タイルの積み方向</p> <p>タイルの積み角度</p>
4 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整	<p>既存塗膜等の除去</p> <p>下地処理</p> <p>下地調整</p> <p>下地の種類</p> <p>下地の仕様</p> <p>下地の厚さ</p> <p>下地の長さ</p> <p>下地の幅</p> <p>下地の重量</p> <p>下地の施工</p> <p>下地の保管</p> <p>下地の廃棄</p> <p>下地の再利用</p> <p>下地の処分</p> <p>下地の回収</p> <p>下地の運搬</p> <p>下地の積み</p> <p>下地の積み方</p> <p>下地の積み高さ</p> <p>下地の積み幅</p> <p>下地の積み長さ</p> <p>下地の積み重量</p> <p>下地の積み回数</p> <p>下地の積み時間</p> <p>下地の積み場所</p> <p>下地の積み方法</p> <p>下地の積み順序</p> <p>下地の積み方向</p> <p>下地の積み角度</p>
2 下地調整剤	<p>下地調整剤</p> <p>下地調整剤の種類</p> <p>下地調整剤の仕様</p> <p>下地調整剤の厚さ</p> <p>下地調整剤の長さ</p> <p>下地調整剤の幅</p> <p>下地調整剤の重量</p> <p>下地調整剤の施工</p> <p>下地調整剤の保管</p> <p>下地調整剤の廃棄</p> <p>下地調整剤の再利用</p> <p>下地調整剤の処分</p> <p>下地調整剤の回収</p> <p>下地調整剤の運搬</p> <p>下地調整剤の積み</p> <p>下地調整剤の積み方</p> <p>下地調整剤の積み高さ</p> <p>下地調整剤の積み幅</p> <p>下地調整剤の積み長さ</p> <p>下地調整剤の積み重量</p> <p>下地調整剤の積み回数</p> <p>下地調整剤の積み時間</p> <p>下地調整剤の積み場所</p> <p>下地調整剤の積み方法</p> <p>下地調整剤の積み順序</p> <p>下地調整剤の積み方向</p> <p>下地調整剤の積み角度</p>
3 仕上塗材仕上げ	<p>仕上塗材仕上げ</p> <p>仕上塗材の種類</p> <p>仕上塗材の仕様</p> <p>仕上塗材の厚さ</p> <p>仕上塗材の長さ</p> <p>仕上塗材の幅</p> <p>仕上塗材の重量</p> <p>仕上塗材の施工</p> <p>仕上塗材の保管</p> <p>仕上塗材の廃棄</p> <p>仕上塗材の再利用</p> <p>仕上塗材の処分</p> <p>仕上塗材の回収</p> <p>仕上塗材の運搬</p> <p>仕上塗材の積み</p> <p>仕上塗材の積み方</p> <p>仕上塗材の積み高さ</p> <p>仕上塗材の積み幅</p> <p>仕上塗材の積み長さ</p> <p>仕上塗材の積み重量</p> <p>仕上塗材の積み回数</p> <p>仕上塗材の積み時間</p> <p>仕上塗材の積み場所</p> <p>仕上塗材の積み方法</p> <p>仕上塗材の積み順序</p> <p>仕上塗材の積み方向</p> <p>仕上塗材の積み角度</p>
4 外壁用塗膜防水材塗り	<p>外壁用塗膜防水材塗り</p> <p>塗膜防水材の種類</p> <p>塗膜防水材の仕様</p> <p>塗膜防水材の厚さ</p> <p>塗膜防水材の長さ</p> <p>塗膜防水材の幅</p> <p>塗膜防水材の重量</p> <p>塗膜防水材の施工</p> <p>塗膜防水材の保管</p> <p>塗膜防水材の廃棄</p> <p>塗膜防水材の再利用</p> <p>塗膜防水材の処分</p> <p>塗膜防水材の回収</p> <p>塗膜防水材の運搬</p> <p>塗膜防水材の積み</p> <p>塗膜防水材の積み方</p> <p>塗膜防水材の積み高さ</p> <p>塗膜防水材の積み幅</p> <p>塗膜防水材の積み長さ</p> <p>塗膜防水材の積み重量</p> <p>塗膜防水材の積み回数</p> <p>塗膜防水材の積み時間</p> <p>塗膜防水材の積み場所</p> <p>塗膜防水材の積み方法</p> <p>塗膜防水材の積み順序</p> <p>塗膜防水材の積み方向</p> <p>塗膜防水材の積み角度</p>



案内図



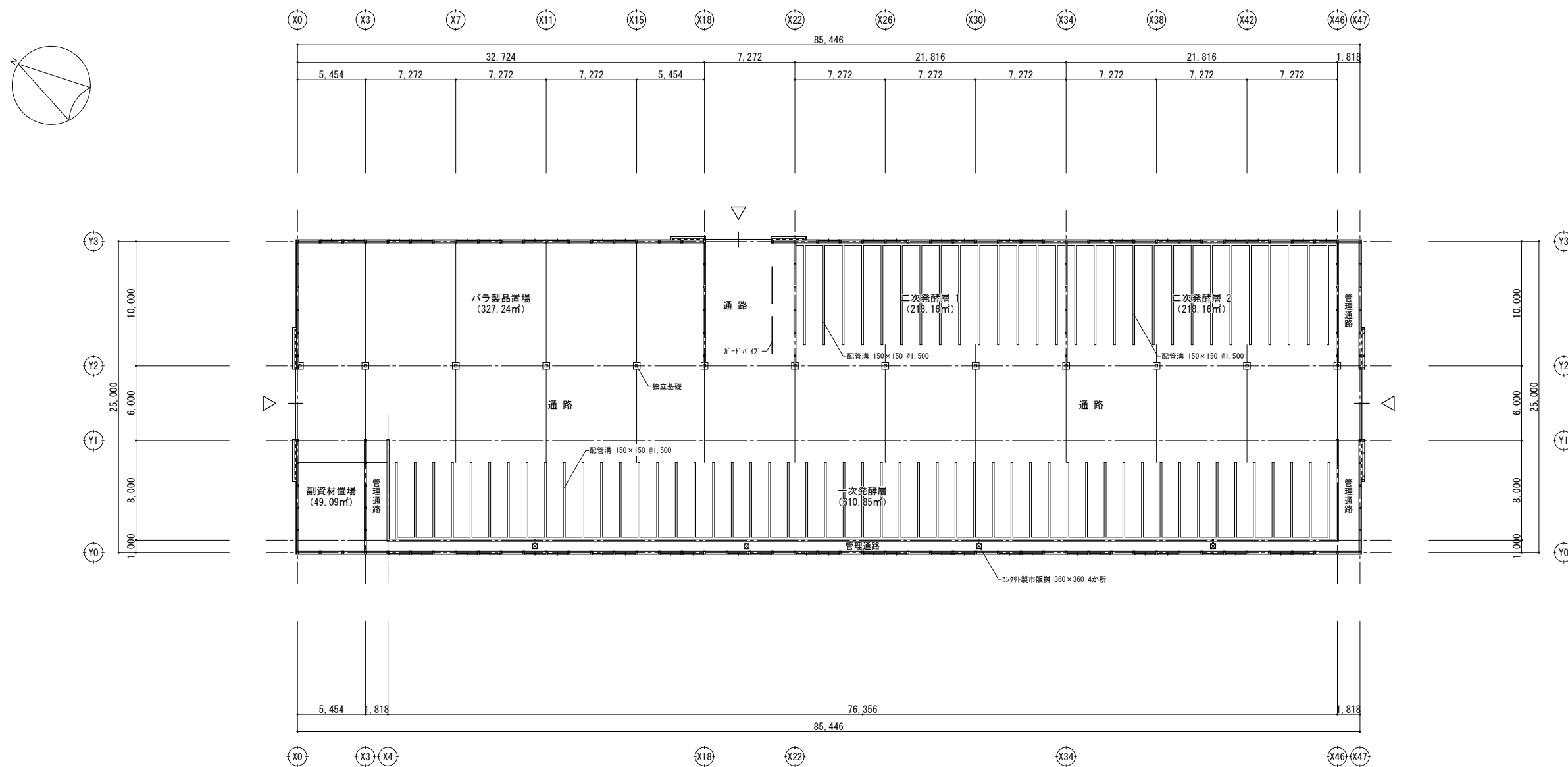
配置図 S=1/300

【工事概要】

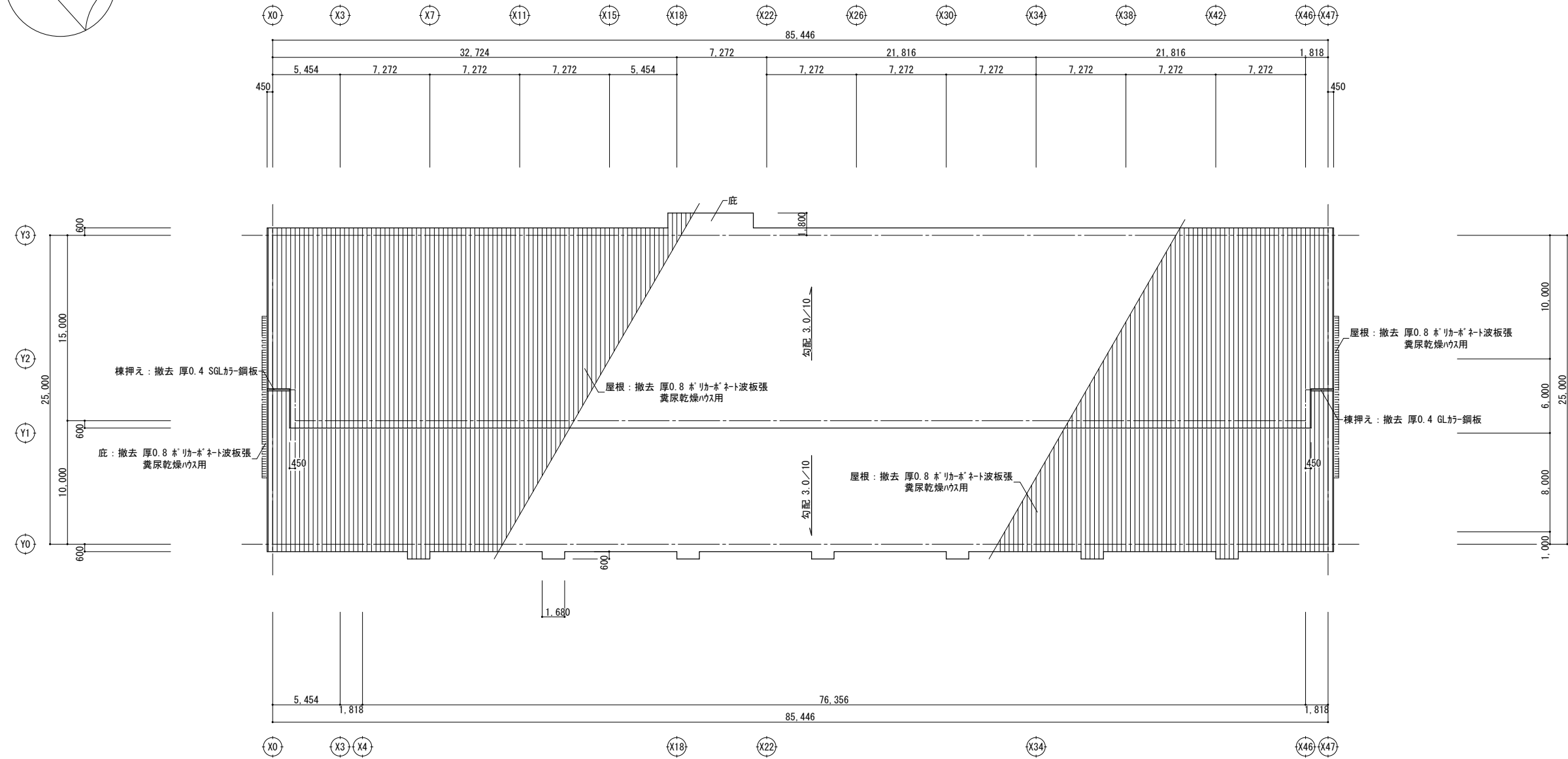
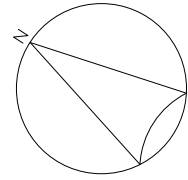
共通事項	堆肥舎			堆肥舎棟		
	現状	数量	改修	現状	数量	改修
1. 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行うものとし、調査結果を監督職員に提出するとともに、官公署へ報告すること。 2. 土間コンクリート、内外の腰壁コンクリートの改修工事の数量調査 ・ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水及び錆汁の流出の有無等を調査する。 ・その他、監督職員と協議による。	1. 屋根の改修 撤去：厚0.8 ㊦リカーネット波板張り（糞尿乾燥ハウス用） 樹脂製座金 ステンレス釘止め	2,458㎡	新規：厚0.8 ㊦リカーネット波板張り（糞尿乾燥ハウス用） ステンレス ㊦5mm L=35mm、ステンレス座金、ス㊦ンジパッキン	1. 屋根の改修 撤去：厚0.27 長尺㊦鉄板波板張り、屋根下地：既存のまま	57.4㎡	新規：厚0.4 GL㊦鋼板 立平葺き ㊦ルフ㊦ン㊦ 23kg、厚12 構造用合板下地 既存屋根との取合い棟押え 厚0.4 ㊦鋼板包み、木下地 105×30 一部 唐草 30×30 厚0.4 ㊦鋼板包み、破風 30×150 木材保護塗装（WP）
	2. 外壁 撤去：厚0.7 ㊦リカーネット波板張り 樹脂製座金 ステンレス釘止め	407㎡	新規：厚0.8 ㊦リカーネット波板張り（糞尿乾燥ハウス用） ステンレス ㊦5mm L=35mm、ステンレス座金、ス㊦ンジパッキン	取外し：厚0.27 長尺㊦鉄板波板張り (X0~X7間の軒先より2.300m部分) 屋根下地材 軒先一段 45×24	31.1㎡	再使用：厚0.27 長尺㊦鉄板波板張り、ステンレス使用 (X0~X7間の軒先より2.300m部分) 新規：屋根下地材 軒先一段 45×24
	3. 土間コンクリート 改修：床コンクリートのクラックの補修	92.8m	新規：クラックのUカット工法（施工前調査により1mm以上の部分）	2. 土間コンクリート 改修：床コンクリートのクラックの補修	-	新規：クラックのUカット工法（施工前調査により1mm以上の部分）
	4. 腰壁コンクリート 改修：腰壁コンクリートのクラック及び錆汁の流出部分の補修	8か所	新規：クラックの幅が1mm以上の部分：Uカット工法（シーリング+㊦リマセメント） 新規：錆汁の流出の部分：リフト工法（研り、防錆処理、㊦リマセメントモルタル充填）	3. 腰壁コンクリート 改修：腰壁コンクリートのクラック及び錆汁の流出部分の補修	-	新規：クラックの幅が1mm以上の部分：Uカット工法（シーリング+㊦リマセメント） 新規：錆汁の流出の部分：リフト工法（研り、防錆処理、㊦リマセメントモルタル充填）
	5. 構造用金物 改修：木造軸組及び小屋組の構造用金物	(床面積) 2,136㎡	新規：金物の増締め。但し、鉄骨部分の接合部を除く	4. 構造用金物 改修：木造軸組及び小屋組の構造用金物	(床面積) 463㎡	新規：金物の増締め
	6. 鉄骨柱の補強 改修：鉄骨柱の柱脚の補強（Y2通り）	8か所	新規：鉄筋（主筋 D16 後施工ア㊦カ、他 D10）、コンクリート 21-18-25、FL+2.40mまで	5. 軽量ジャッキの修繕 撤去：軽量ジャッキ（SS12、SS103）	2か所	新規：軽量ジャッキ（SS1、SS10）
	7. 木製建具の修繕 改修：木製ハ㊦ー戸（WD2、WD3）	2か所	新規：ハ㊦ーレール及び戸車等の修繕（WD2、WD3）			
	8. 塗装 改修：7㊦製引違い戸（AD1）3か所の外部の落し板	(20㎡) 3か所	新規：落し板の木材保護塗料塗り			

内部仕上表

室名	床	床高 (G.L.+)	幅木	壁	天井	天井高	備考
通路	厚150 土間コンクリート にて仕上げ	100	-	一部 腰壁: コンクリート打放し ※X18通り、X22通り	軸組表し	-	
一次発酵槽	厚150 土間コンクリート下地、厚150 シンク-コンクリート にて仕上げ 7'07-用配管溝 150×150 @1,500	100	-	腰壁: コンクリート打放し 腰上: 厚12 型枠用塗装合板張り H=900	軸組表し	-	
二次発酵槽 1	厚150 土間コンクリート下地、厚150 シンク-コンクリート にて仕上げ 7'07-用配管溝 150×150 @1,560	100	-	腰壁: コンクリート打放し 腰上: 厚12 型枠用塗装合板張り H=900	軸組表し	-	独立基礎: 550×550×750 750 2か所
二次発酵槽 2	厚150 土間コンクリート下地、厚150 シンク-コンクリート にて仕上げ 7'07-用配管溝 150×150 @1,560	100	-	腰壁: コンクリート打放し 腰上: 厚12 型枠用塗装合板張り H=900	軸組表し	-	独立基礎: 550×550×750 750 2か所
バラ製品置場	厚150 土間コンクリート にて仕上げ	100	-	腰壁: コンクリート打放し 腰上: 厚12 型枠用塗装合板張り H=900	軸組表し	-	独立基礎: 550×550×750 750 4か所
管理通路	厚150 土間コンクリート にて仕上げ	100	-	腰壁: コンクリート打放し	軸組表し	-	
副資材置場	厚150 土間コンクリート にて仕上げ	100	-	腰壁: コンクリート打放し 腰上: 厚12 型枠用塗装合板張り H=1,800	軸組表し	-	



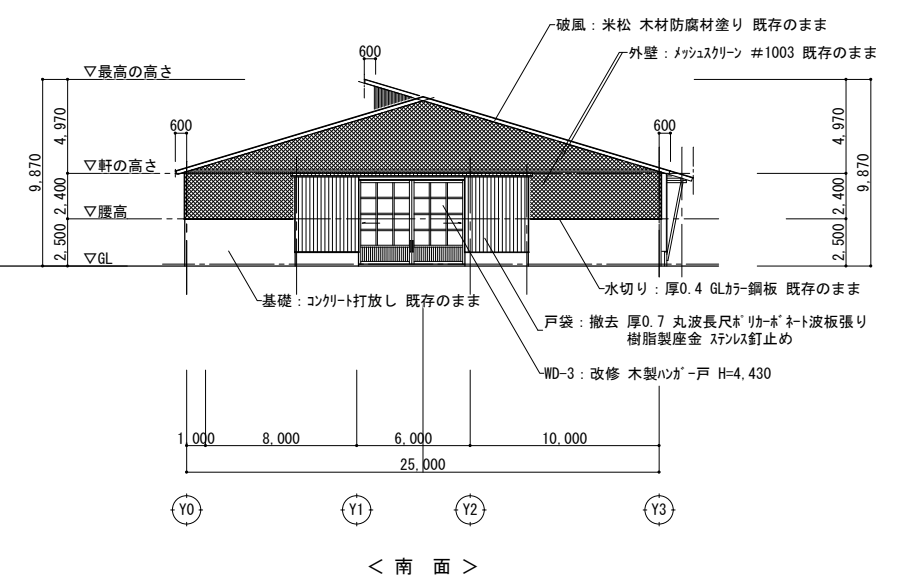
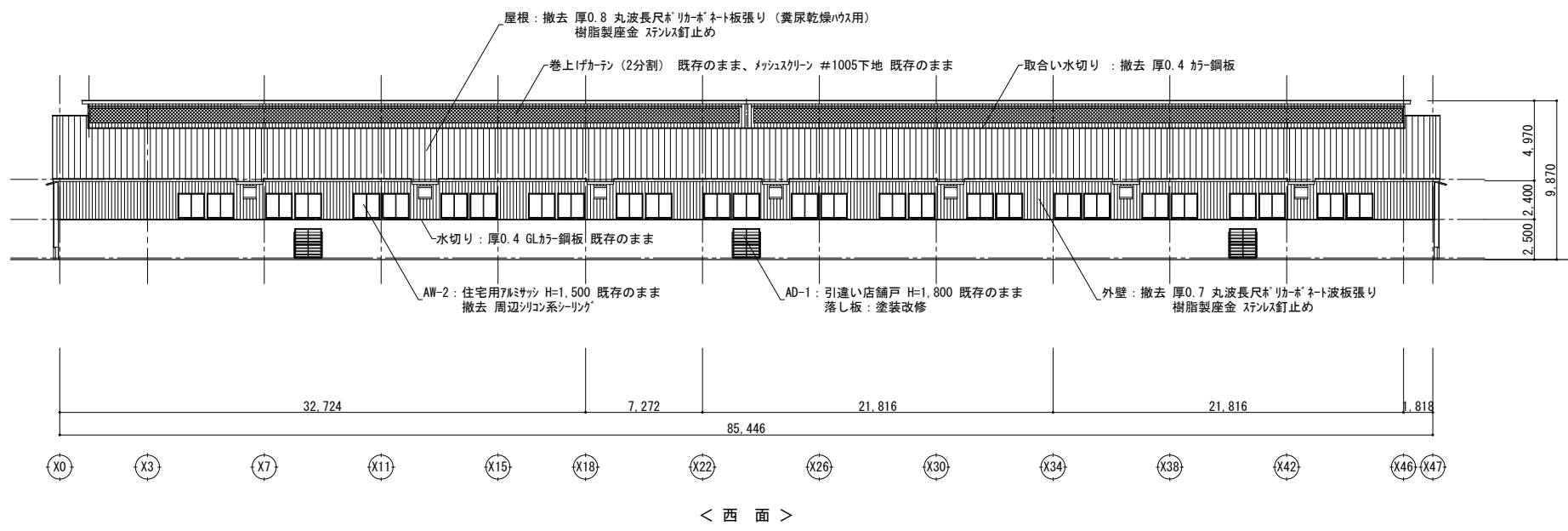
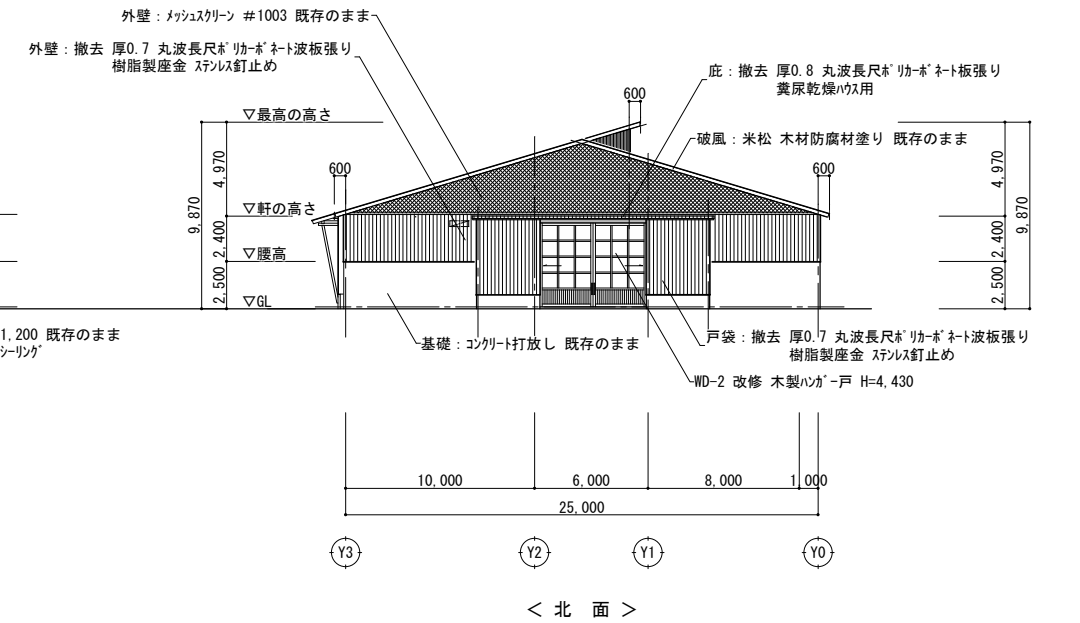
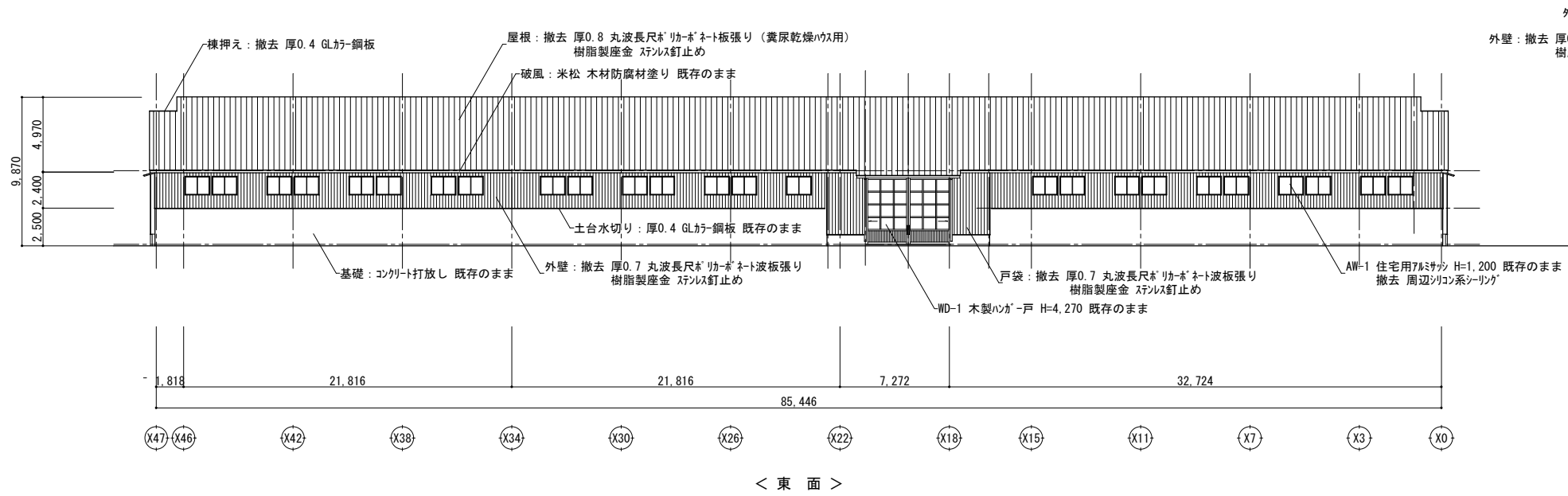
堆肥発酵棟 平面図【現況】 S=1/200



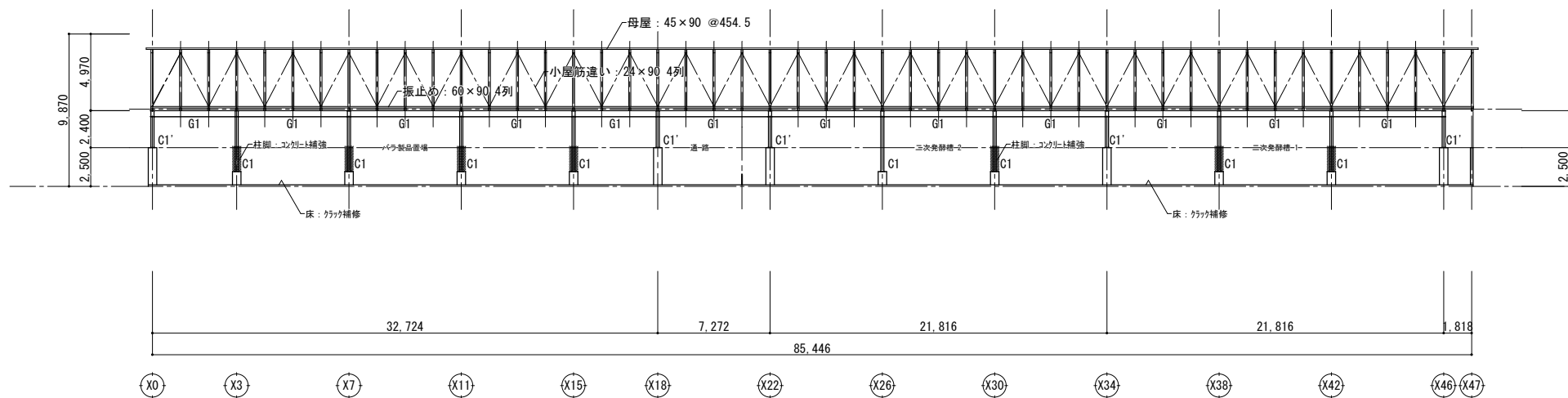
堆肥発酵棟 屋根伏図【現況】 S=1/200

外部仕上表

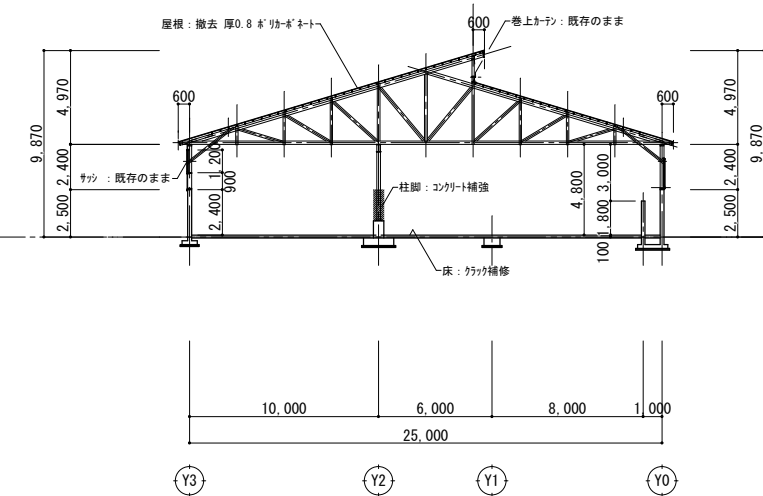
基礎・腰壁	コンクリート打放し 既存のまま	破風・ケラバ	米松 木材防腐材塗り 既存のまま
外 壁	撤去 厚0.7 丸波長尺ボリカボネット波板張り 樹脂製産金 ステンシル止め、南北面：メッシュスクリーン #1003 既存のまま、土台水切り：厚0.4 ｶﾞｰ鋼板 既存のまま	屋 根	撤去 厚0.8 丸波長尺ボリカボネット波板張り (糞尿乾燥ﾊﾞｽ用) 樹脂製産金 ステンシル止め、撤去 棟押え・雨押え：厚0.4 GL鋼板
開 口 部	住宅用ｱﾙﾐｼｯｼﾞ 既存のまま、撤去 周辺ｼﾘｺﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ、木製ﾊﾞｶﾞｰ戸：WD-2・WD-3の修繕	モ ニ タ ー	巻上げｶｰﾅﾝ (2分割) 既存のまま、メッシュスクリーン #1005下地 既存のまま
軒 天	屋根材現し	そ の 他	AD-1 (引違い店舗戸 H=1,800) の落し板 塗装改修 3か所



堆肥発酵棟 立面図【現況】 S=1/200

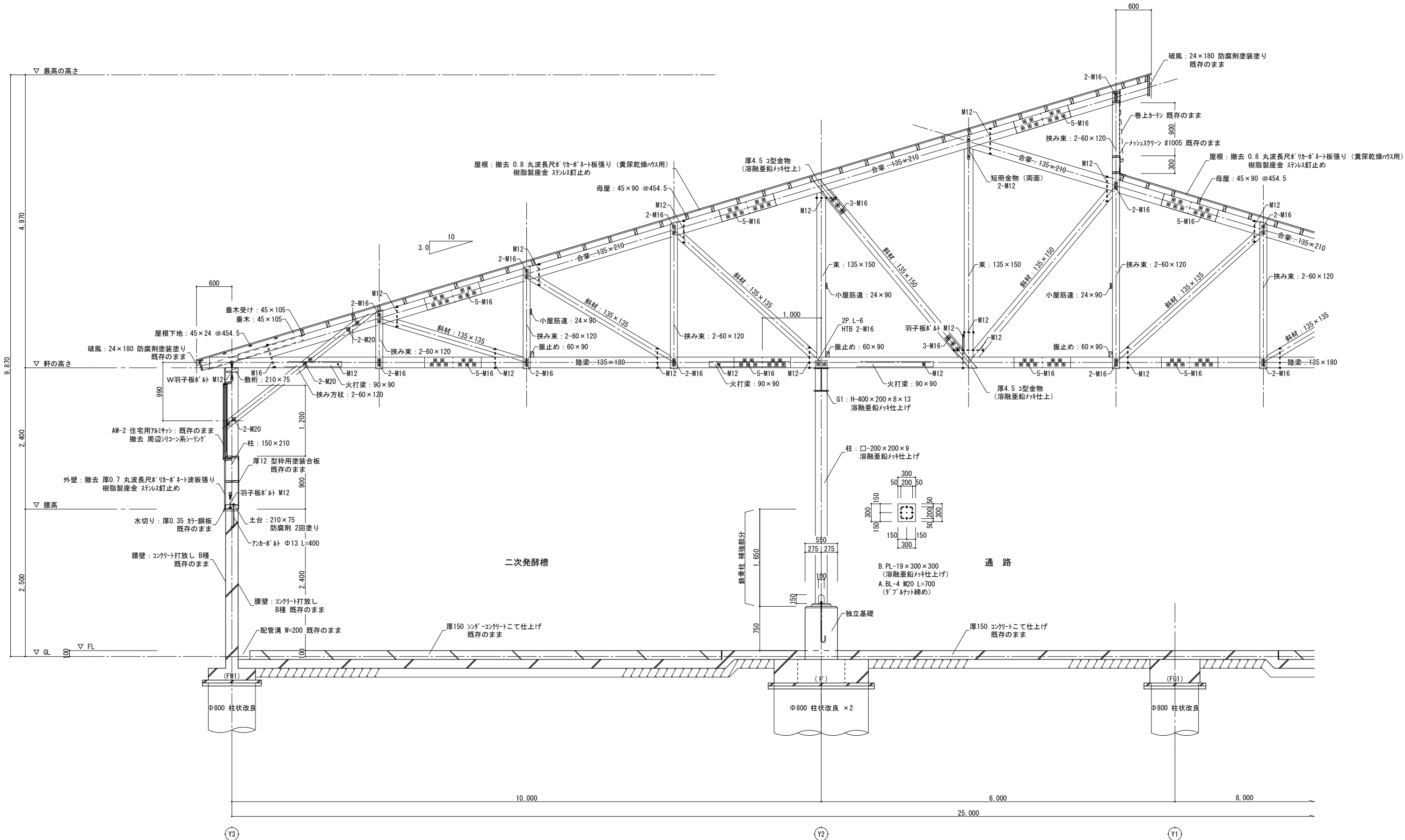


< A~A' 断面図 >

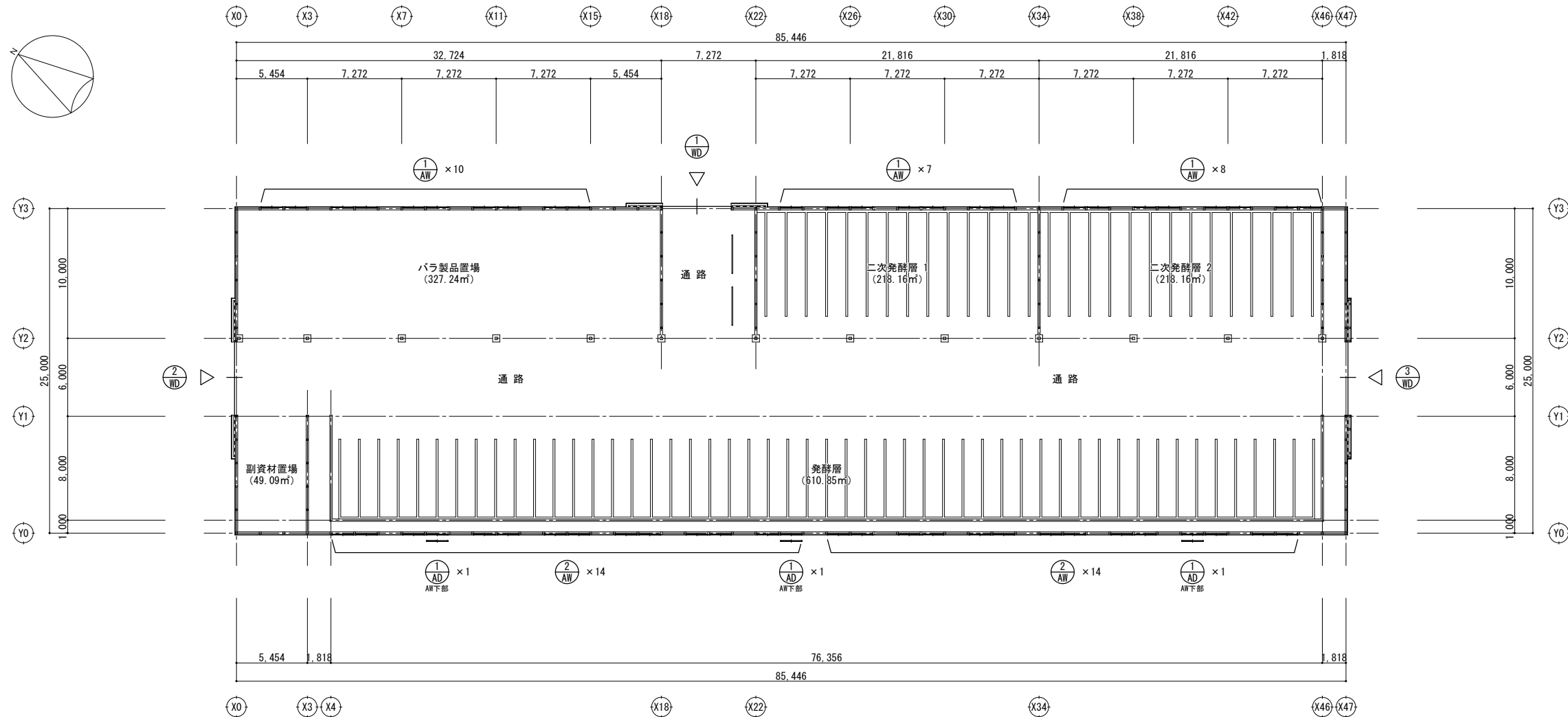


< B-B' 断面図 >

堆肥発酵棟 断面図【現況】 S=1/200



堆肥発酵棟 矩計図 1【現況】 S=1/30



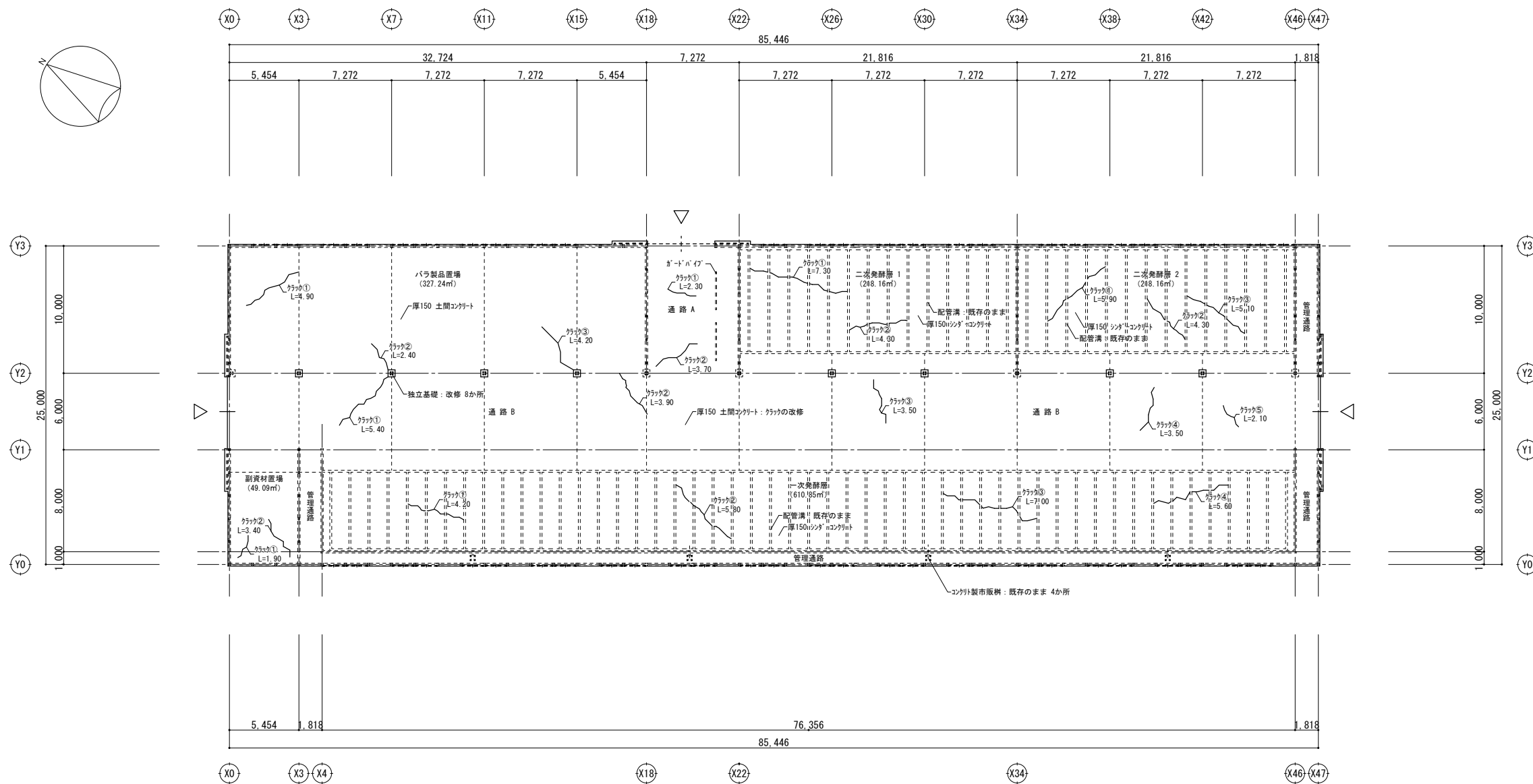
堆肥発酵棟 建具キープラン【現況】 S=1/200

建具表 S=1/50

符号・数量	① WD	② WD	③ WD	① AW	② AW	① AD	数量		
	1	1	1	1	25	28	3		
姿 図	<p>寸法 W × H WD-1 5,280 × 4,270 WD-2 5,600 × 4,430 WD-3 5,870 × 4,430</p>								
形 式	引分けハンガー戸			引違いアルミサッシ (住宅用半外付けタイプ)		引違いアルミサッシ (住宅用半外付けタイプ)		引違い店舗戸	
見 込	60								
材質・仕上	米杉 木材防腐剤塗り			アルミブロンズ		アルミブロンズ		アルミブロンズ	
硝 子	厚2.0 ポリカーボネート板 (透明)			3mm透明		3mm透明		上部: 3mm透明、腰: アルミパネル	
金 物	下部: 重量戸車 (100kg)、レール: L-50×50×6 (溶融亜鉛メッキ製) 上部: ペアリング複車 (70KG)、ハンガーレール、エブロン、ストッパー、中央戸当り、横受け一連、付属金物一式			オペレーター: 3台 (SL50 ※ステンレスワイヤー)、付属金物一式		オペレーター: 2台 (SL50 ※ステンレスワイヤー)、付属金物一式		付属金物一式	

内部仕上表

室名	床	床高 (G L +)	幅木	壁	天井	天井高	備考
通路	厚150 土間コンクリート にて仕上げ：クランク部分の改修	100	-	一部 腰壁：コンクリート打放し ※X18通り、X22通り：既存のまま	軸組表し	-	
一次発酵槽	厚150 土間コンクリート下地、厚150 シンダーコンクリート にて仕上げ：クランク部分の改修 707-用配管溝 150×150 @1,500：既存のまま	100	-	腰壁：コンクリート打放し：クランク部分の改修 腰上：厚12 型枠用塗装合板張り H=900：既存のまま	軸組表し	-	
二次発酵槽 1	厚150 土間コンクリート下地、厚150 シンダーコンクリート にて仕上げ：クランク部分の改修 707-用配管溝 150×150 @1,500：既存のまま	100	-	腰壁：コンクリート打放し：クランク部分の改修 腰上：厚12 型枠用塗装合板張り H=900：既存のまま	軸組表し	-	独立基礎：550×550×750 750 2か所：改修
二次発酵槽 2	厚150 土間コンクリート下地、厚150 シンダーコンクリート にて仕上げ：クランク部分の改修 707-用配管溝 150×150 @1,500：既存のまま	100	-	腰壁：コンクリート打放し：クランク部分の改修 腰上：厚12 型枠用塗装合板張り H=900：既存のまま	軸組表し	-	独立基礎：550×550×750 750 2か所：改修
バラ製品置場	厚150 土間コンクリート にて仕上げ：クランク部分の改修	100	-	腰壁：コンクリート打放し：クランク部分の改修 腰上：厚12 型枠用塗装合板張り H=900：既存のまま	軸組表し	-	独立基礎：550×550×750 750 4か所：改修
管理通路	厚150 土間コンクリート にて仕上げ：既存のまま	100	-	腰壁：コンクリート打放し：既存のまま	軸組表し	-	コンクリート製市販柵 360×360 4か所：既存のまま
副資材置場	厚150 土間コンクリート にて仕上げ：クランク部分の改修	100	-	腰壁：コンクリート打放し：クランク部分の改修 腰上：厚12 型枠用塗装合板張り H=1,800：既存のまま	軸組表し	-	



独立基礎の改修 計算書 (か所)

	小計	計
【二次発酵槽 1】	2.0	
【二次発酵槽 2】	2.0	
【バラ堆肥置場】	4.0	8.0

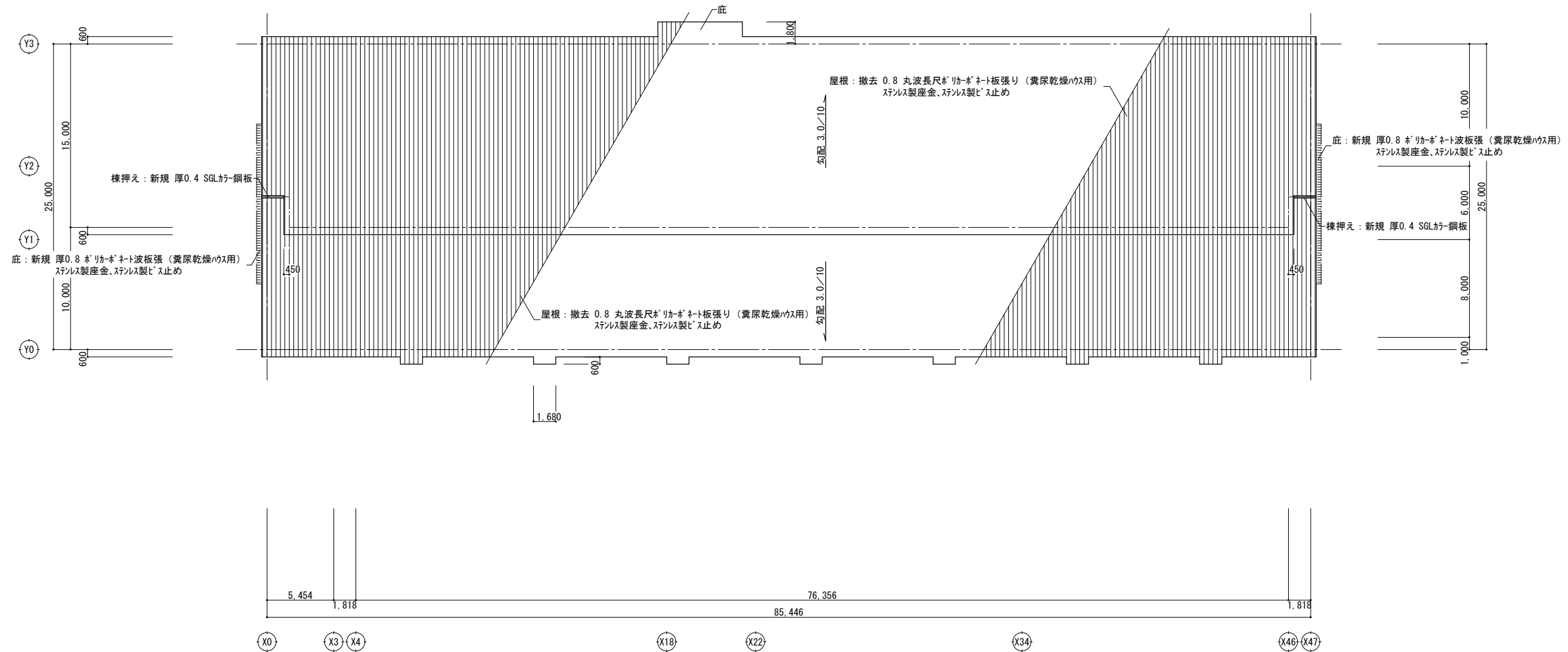
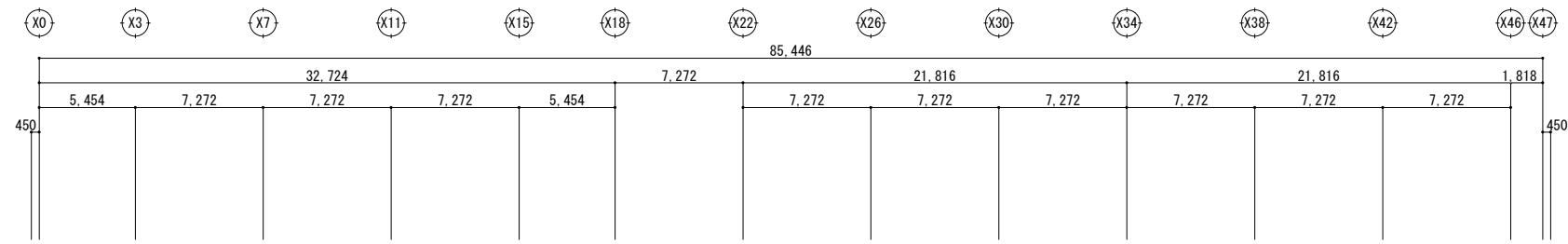
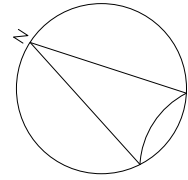
床クランクの改修 計算表 (m)

番号	計算	小計	計
【通路 A】			
①	2.300 + 0.200	2.500	
②	3.700 + 0.200	3.900	6.400
【通路 B】			
①	5.400 + 0.100	5.500	
②	3.900 + 0.200	4.100	
③	3.500 + 0.200	3.700	
④	3.500 + 0.200	3.700	
⑤	2.100 + 0.200	2.300	19.300
【一次発酵槽】			
①	4.200 + 0.000	4.200	
②	5.800 + 0.000	5.800	
③	7.000 + 0.000	7.000	
④	5.600 + 0.000	5.600	22.600
【二次発酵槽 1】			
①	7.300 + 0.000	7.300	
②	4.300 + 0.000	4.300	11.600
【二次発酵槽 2】			
①	5.900 + 0.000	5.900	
②	4.300 + 0.000	4.300	
③	5.100 + 0.000	5.100	15.300
【バラ堆肥置場】			
①	4.900 + 0.200	5.100	
②	2.400 + 0.100	2.500	
③	4.200 + 0.100	4.300	11.900
【副資材置場】			
①	3.400 + 0.200	3.600	
②	1.900 + 0.200	2.100	5.700
合計			92.800

凡例
 — 実線は改修部分を現す
 - - - 点線は既存部分を現す

堆肥発酵棟 平面図【改修】 S=1/200

- 特記事項
1. 施工に先立ち、予備調査および本調査を実施し、床および壁コンクリート等のひび割れ部の改修の範囲および数量調査を行うこと。
また、調査の結果は図面に範囲及び施工数量を記入し、工事監理者・監督職員に報告すること。
 2. 床の高圧洗浄は、床面の25%程度とする。
 3. ひび割れ部の改修はひび割れ幅が1.0mm以上とし、Uカットのウレタン材及びギョーメメント充填とすること。



堆肥発酵棟 屋根伏図【現況】 S=1/200

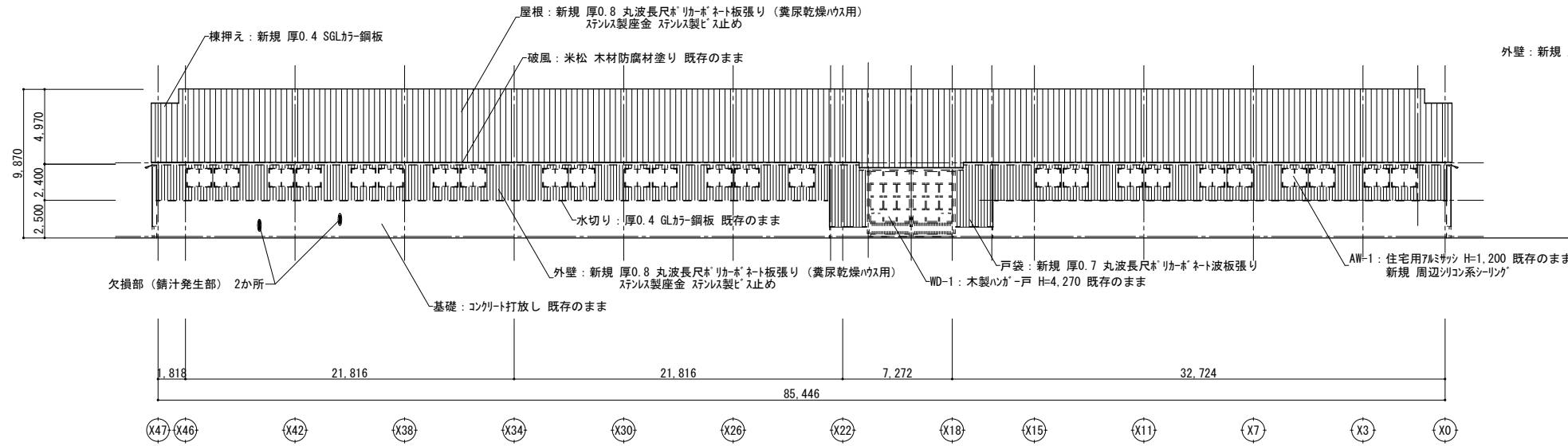
特記事項

- 新規屋根は 厚0.8 丸波長尺ホリカホリネット張りの止め金具は、ステンレス製 L=35mm以上、ステンレス金、ステンジバットとする。

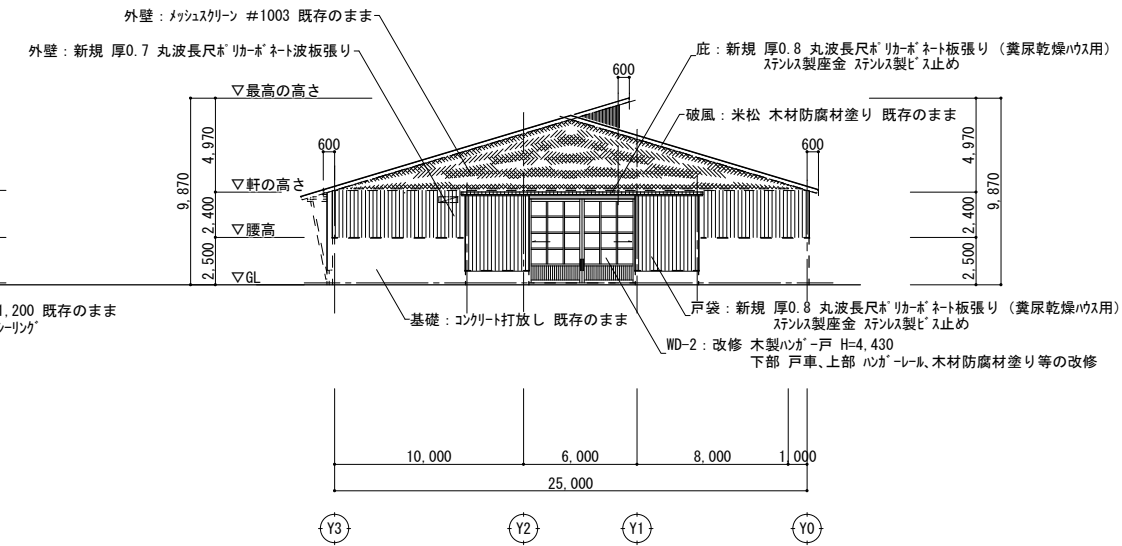
凡例
 —— 実線は改修部分を現す
 ---- 点線は既存部分を現す

外部仕上表

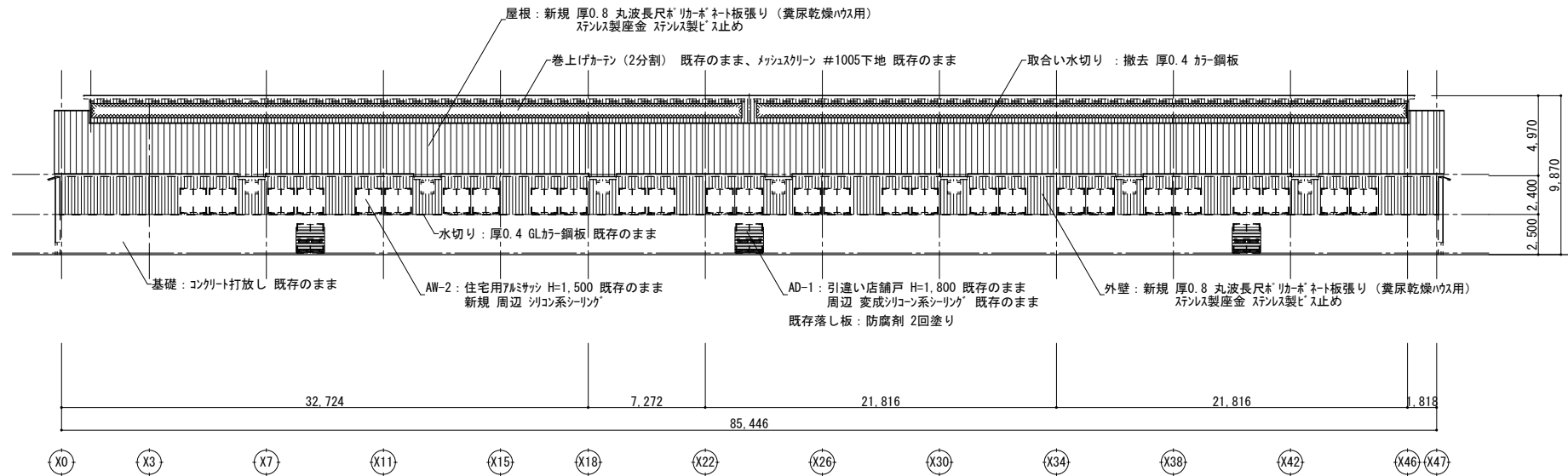
基礎・腰壁	コンクリート打放し：既存のまま。 一部欠損部（錆汁発生部）は、エポキシ樹脂モルタル充填工法として下記による。 錆汁周辺コンクリートのカッター入れ → 研りにより鉄筋の健全な部分を露出 → 錆の除去 → 防錆処理 → コンクリートにプライマー塗布 → エポキシ樹脂モルタルの充填 ※リポート工法程度	破風・ケラバ 屋根	米松 木材防腐材塗り 既存のまま 新規 厚0.8 丸波長尺ホリカボネット板張り（糞尿乾燥ハウス用 止金具：ステンレス製ビス Φ5mm L=35mm以上、ステンレス座金、ステンツバネ）、棟押え：撤去 厚0.4 GLカー钢板
外壁	新規 厚0.8 丸波長尺ホリカボネット板張り（糞尿乾燥ハウス用） ステンレス製ビス Φ5mm L=35mm以上、ステンレス座金、ステンツバネ、南北面：メッシュスクリーン #1003 既存のまま	モニター	巻上げカーテン（2分割） 既存のまま、メッシュスクリーン #1005下地 既存のまま
開口部	住宅用7&ミツッ：AW-1・AW-2 既存のまま、新規 周辺 変性シリコン系シーリング（SR-1）、木製ハガー戸：WD-1 既存のまま、WD-2・WD-3 下部戸車・上部ハガーレール戸車の修繕、木材防腐材塗りの更新	その他	
軒天	屋根材現し		



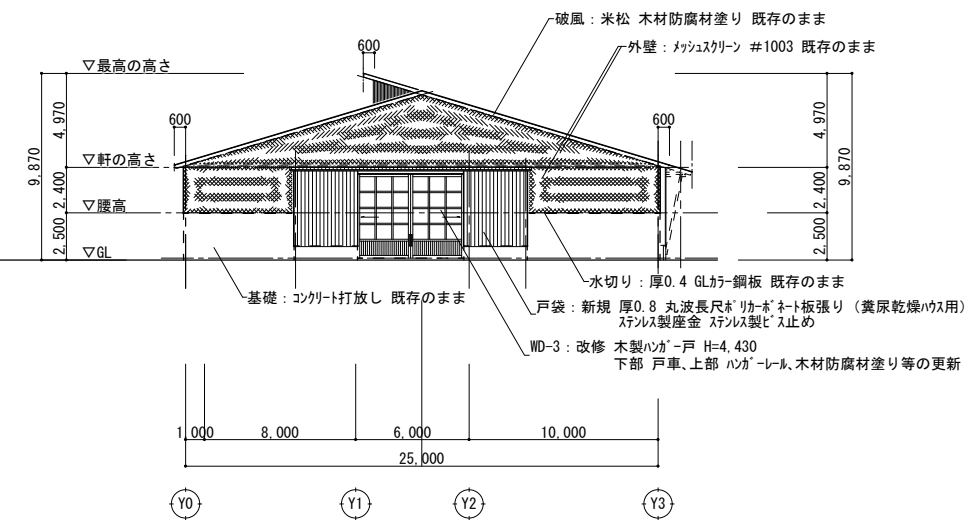
< 東面 >



< 北面 >



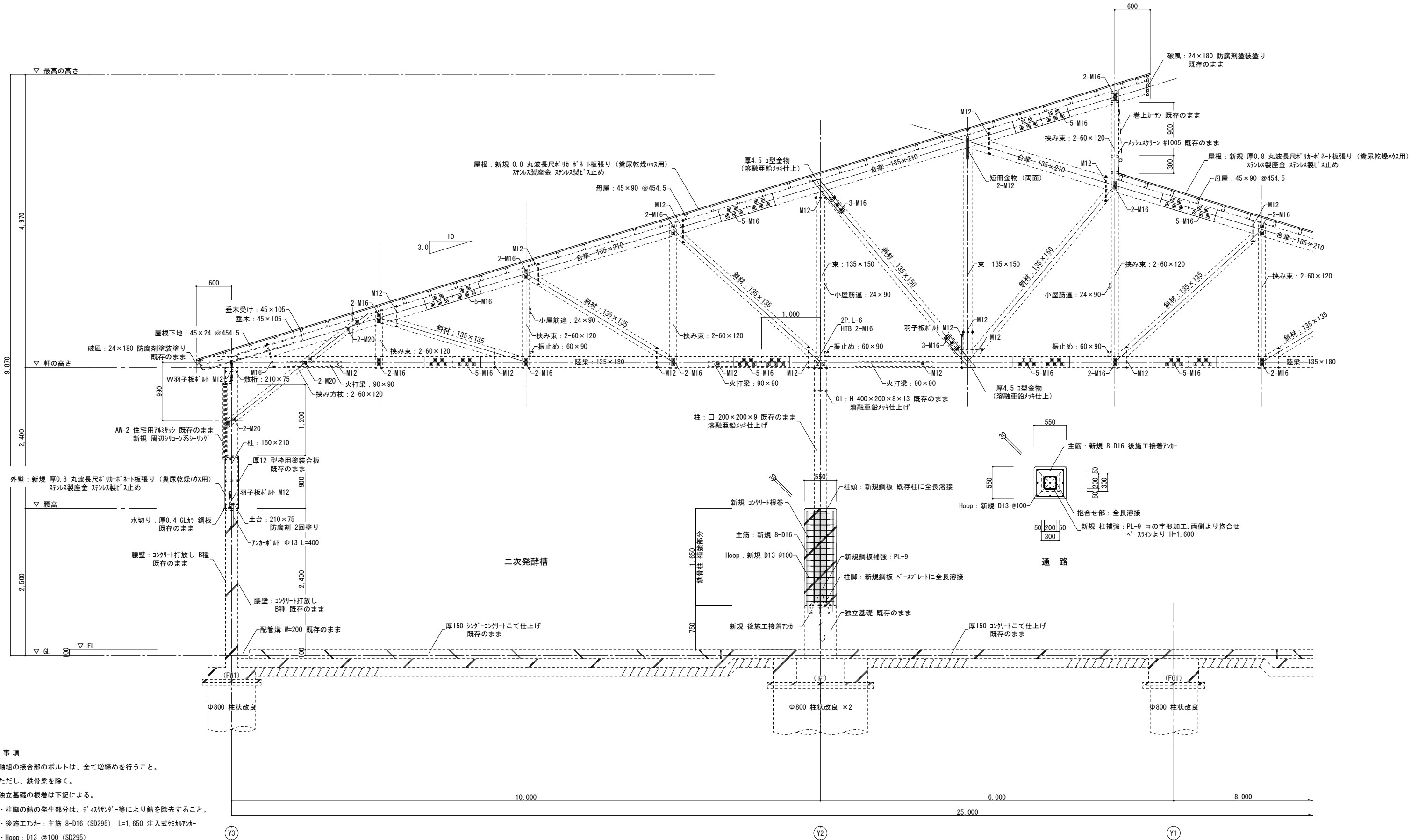
< 西面 >



< 南面 >

凡例
 — 実線は改修部分を現す
 - - 点線は既存部分を現す

堆肥発酵棟 立面図【改修】 S=1/200

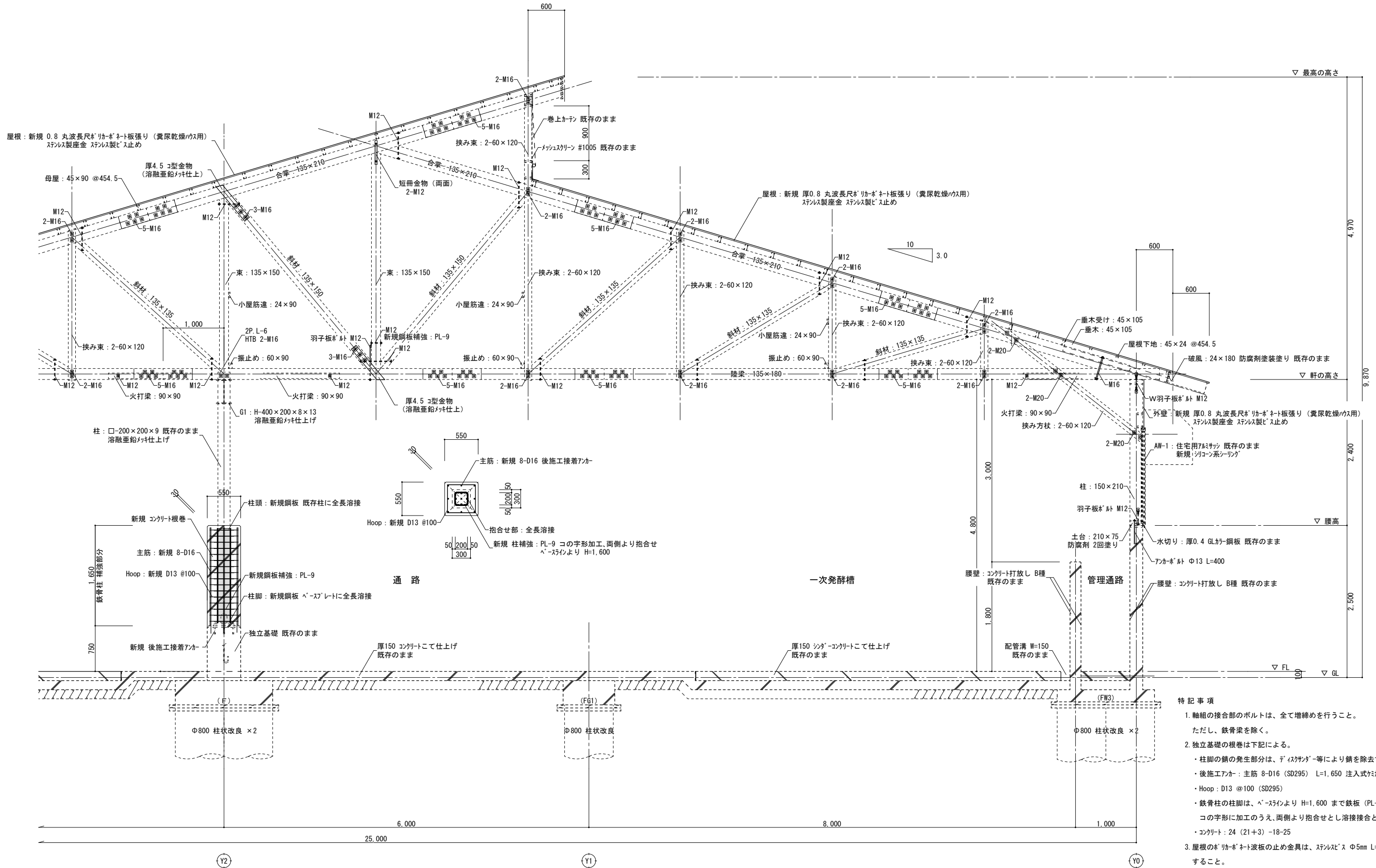


- 特記事項
- 軸組の接合部のボルトは、全て増締めを行うこと。
ただし、鉄骨梁を除く。
 - 独立基礎の根巻は下記による。
 - 柱脚の錆の発生部分は、フェイスリフト等により錆を除去すること。
 - 後施工アンカー：主筋 8-D16 (SD295) L=1,650 注入式樹脂アンカー
 - Hoop：D13 @100 (SD295)
 - 鉄骨柱の柱脚は、ベースプレートより H=1,600 まで鉄板 (PL-9 SS400) をコの字形に加工のうえ、両側より抱合せとし溶接接合とすること。
 - コンクリート：24 (21+3) -18-25
 - 屋根のポリカーボネート波板の止め金具は、ステンレス Φ5mm L=35mm とすること。
 - 外壁の開閉部周辺に使用するシーリング材は下記によること。
 - 1成分シリコンアクリル系

堆肥発酵棟 矩計図 1【改修】 S=1/30

凡例

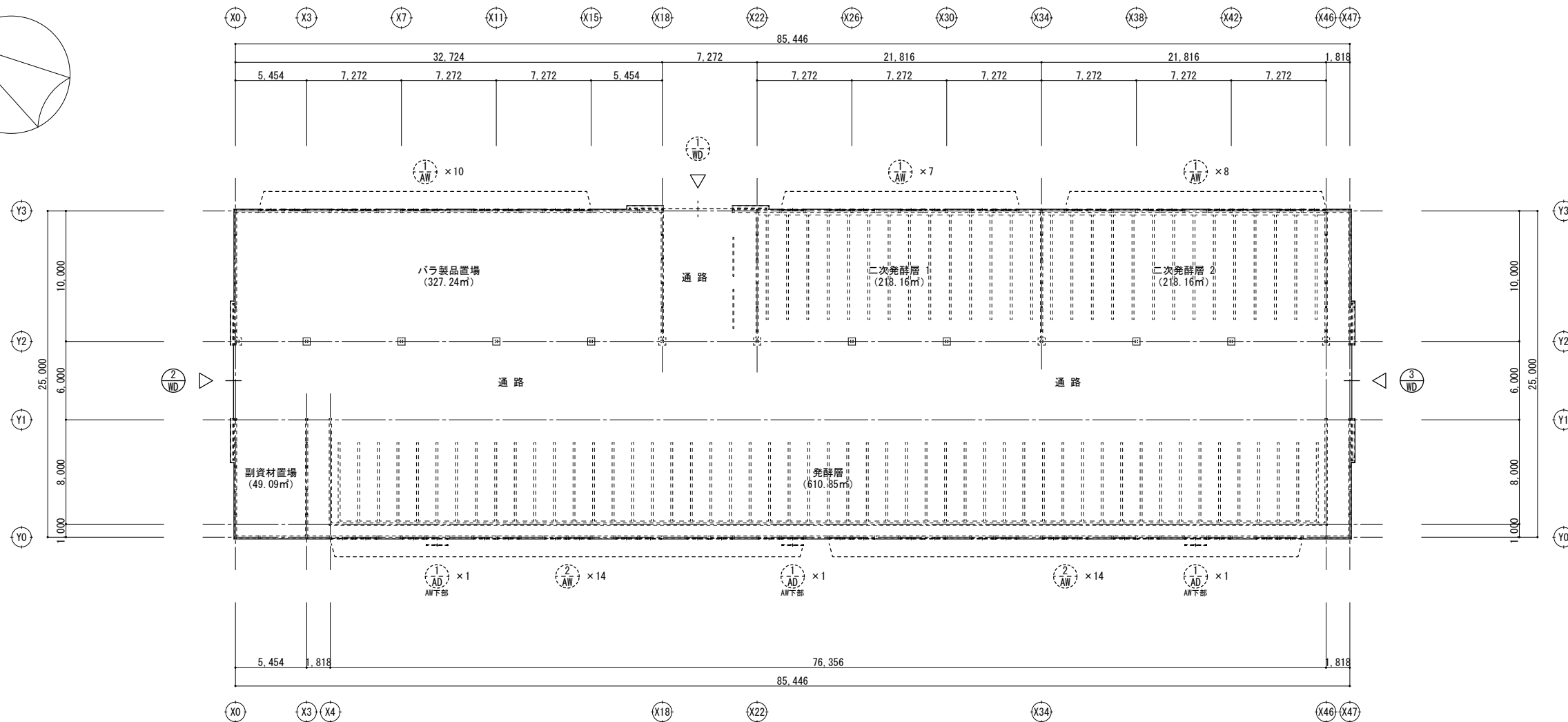
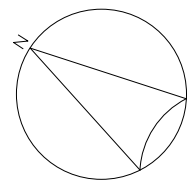
—	実線は改修部分を示す
---	点線は既存部分を示す



- 特記事項
- 軸組の接合部のボルトは、全て増締めを行うこと。
ただし、鉄骨梁を除く。
 - 独立基礎の根巻は下記による。
 - 柱脚の錆の発生部分は、ディスク等により錆を除去すること。
 - 後施工アンカー：主筋 8-D16 (SD295) L=1,650 注入式アンカー
 - Hoop：D13 @100 (SD295)
 - 鉄骨柱の柱脚は、ベースより H=1,600 まで鉄板 (PL-9 SS400) をコの字形に加工のうえ、両側より抱合せとし溶接接合とすること。
 - コンクリート：24 (21+3) -18-25
 - 屋根のホリコネート波板の止め金具は、ステンレス Φ5mm L=35mm とすること。
 - 外壁の開口部周辺に使用するシーリング材は下記によること。
 - 1 成分型シリコンアクリルタイプ

凡例
 — 実線は改修部分を現す
 - - - 点線は既存部分を現す

堆肥発酵棟 矩計図 2【改修】 S=1/30



堆肥発酵棟 建具キープラン (改修) S=1/200

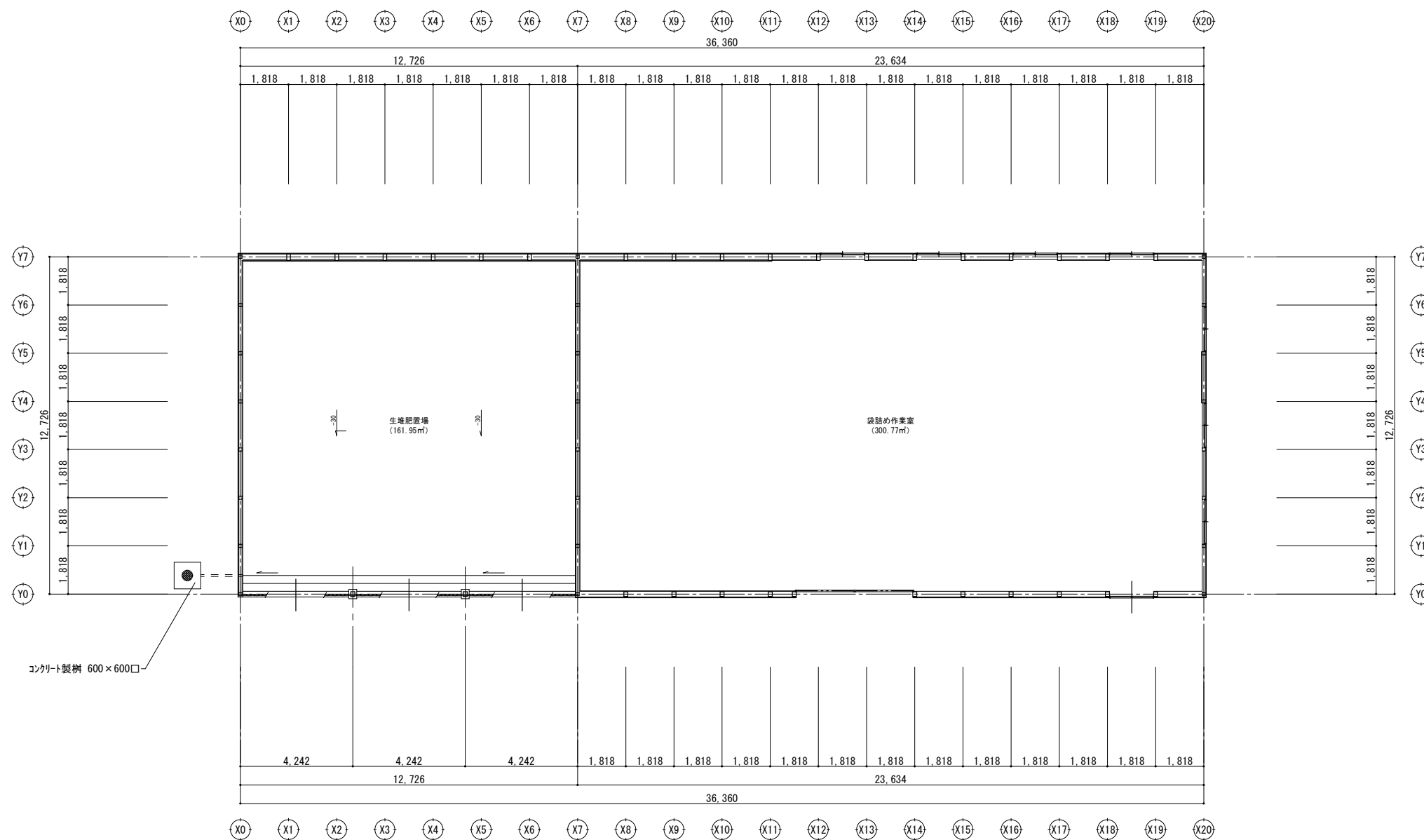
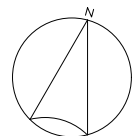
凡例
 —— 実線は改修部分を現す
 - - - 点線は既存部分を現す

建具表 S=1/50

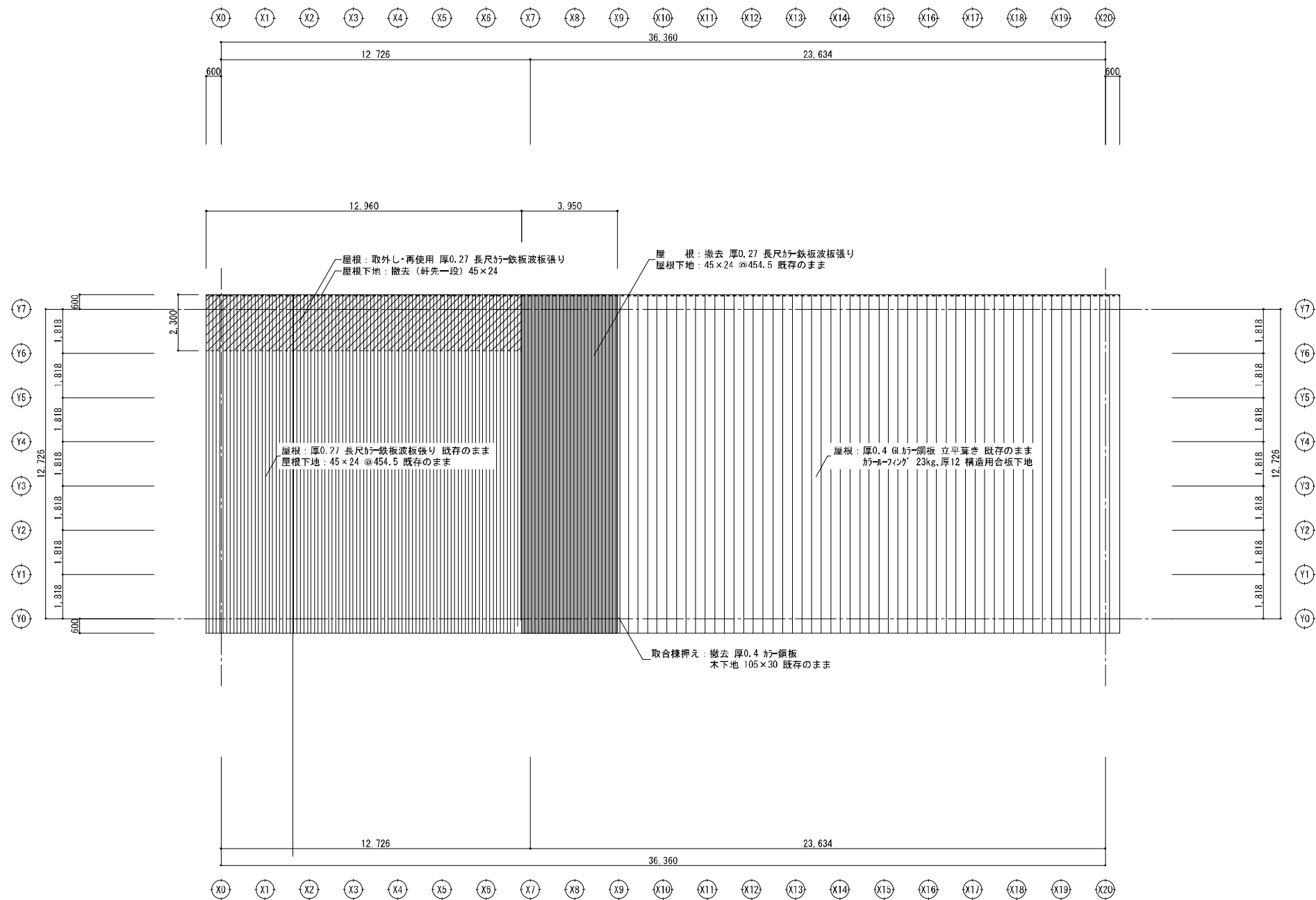
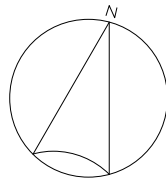
符号・数量	1 WD	2 WD	3 WD	1 AW	2 AW	1 AD	数量		
	1	1	1	25	28	3			
姿 図	<p>ハンガーレール等一式：新規 寸法 W × H WD-1 5,280 × 4,270 WD-2 5,600 × 4,430 WD-3 5,870 × 4,430 重量戸車：新規 レール：既存のまま</p>			<p>1,150 1,510</p>		<p>1,500 1,510</p>		<p>1,800 1,605</p>	
形 式	引分けハンガー戸			引違いアルミサッシ (住宅用半外付けタイプ) : 既存のまま		引違いアルミサッシ (住宅用半外付けタイプ) : 既存のまま		引違い店舗戸 : 既存のまま	
見 込	60 : 既存のまま								
材質・仕上	米杉 木材防腐剤塗リ : 既存のまま			アルミブロンズ : 既存のまま		アルミブロンズ : 既存のまま		アルミブロンズ : 既存のまま	
硝 子	厚2.0 ポリカーボネート板 (透明) : 既存のまま			3mm透明 : 既存のまま		3mm透明 : 既存のまま		上部 : 3mm透明、腰 : アルミパネル : 既存のまま	
金 物	下部 : 重量戸車 (100kg) : 新規、レール : L-50 × 50 × 6 (溶融亜鉛メッキ製) : 既存のまま 上部 : ベアリング複車 (70KG)、ハンガーレール、エブロン、ストッパー、中央戸当り、横受け一連、付属金物一式 : 新規			オペレーター : 3台 (SL50 ※ステンレスワイヤー)、付属金物一式 : 既存のまま		オペレーター : 2台 (SL50 ※ステンレスワイヤー)、付属金物一式 : 既存のまま		付属金物一式 : 既存のまま 外側の落し板 : 塗装改修	

内部仕上表

室名	床	床高 (G.L.+)	幅木	壁	天井	天井高	備考
袋詰め作業室	厚150 土間コンクリート こて仕上げ	100	-	基礎、腰壁：コンクリート打放し 腰上：X7通り 厚12 型枠用塗装合板張り (小屋裏まで) 腰上：Y0通り・Y7通りのX7通り～X11通り間 厚12 型枠用塗装合板張り (FL+4,630まで)	軸組表し	-	
生堆肥置場	厚150 土間コンクリート こて仕上げ	100	-	腰壁：コンクリート打放し 腰上：3方向 (Y7通り、X0通り、X7通り) 厚12 型枠用塗装合板張り H=900	軸組表し	-	



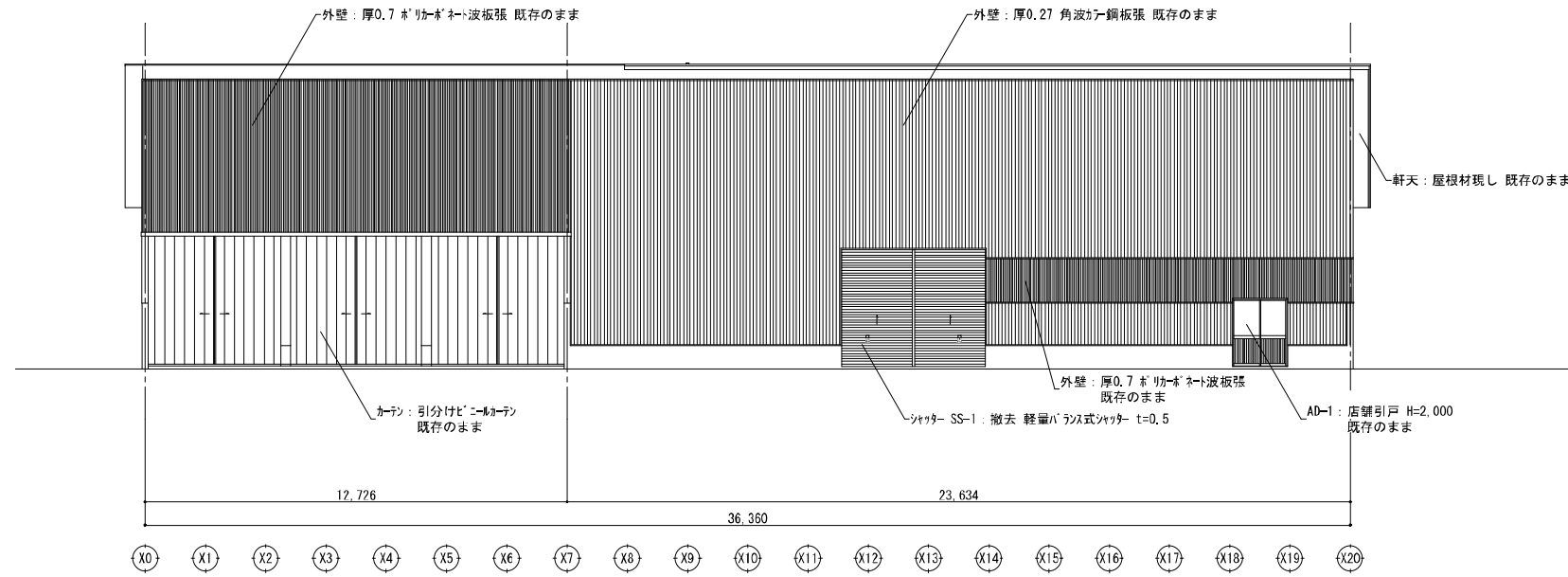
堆肥舎棟 平面図【現況】 S=1/100



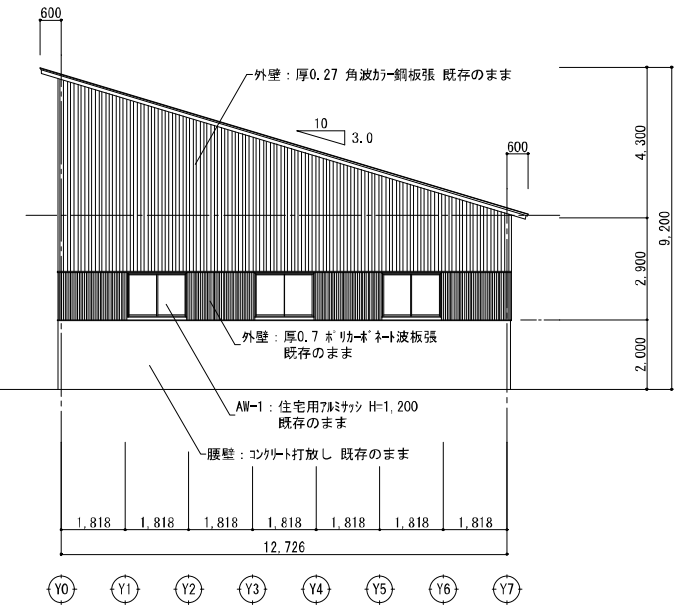
堆肥舎棟 屋根伏図【現況】 S=1/100

外部仕上表

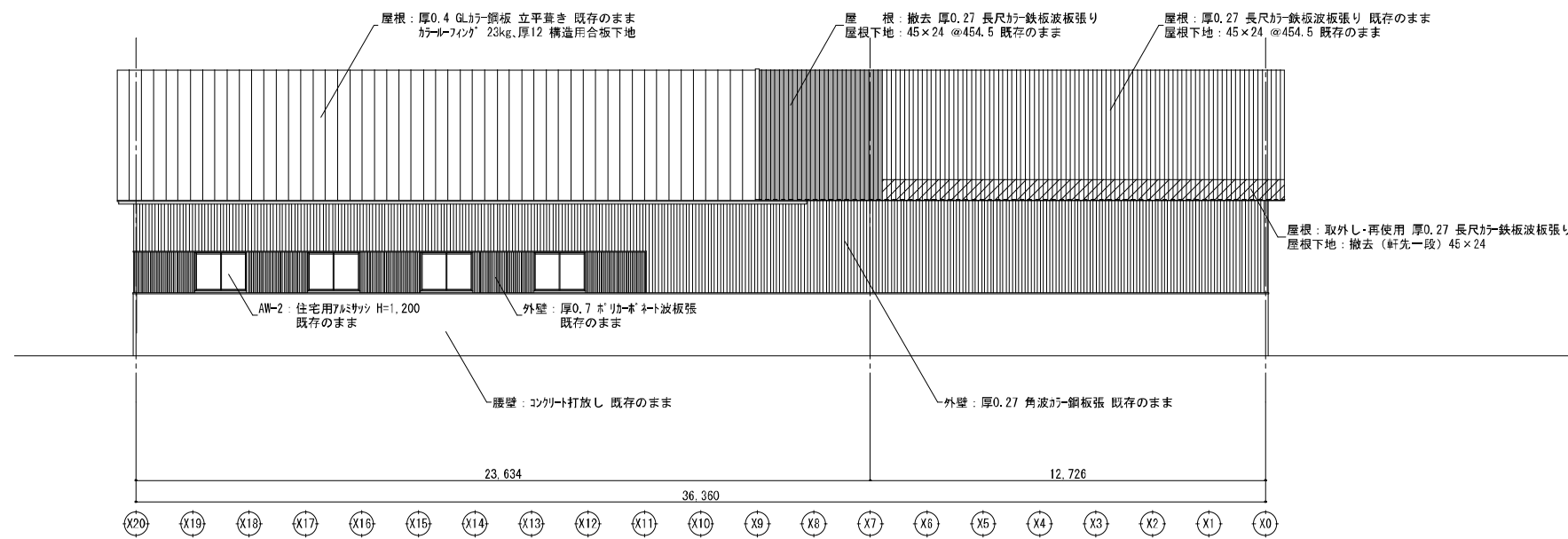
基礎・腰壁	コンクリート打放し 既存のまま	破風・ケラバ	米松 木材防腐材塗り 既存のまま
外 壁	水切り：厚0.4 ガー鋼板 既存のまま ＜北面、南面、東面＞：厚0.7 丸波長尺ガルバリウム鋼板張り 既存のまま、＜東面、西面、南面、北面＞：厚0.27 角波ガル鋼板張 既存のまま	屋 根	厚0.4 GLガー鋼板 立平葺き 既存のまま、カールフック 23kg下地 既存のまま、厚12 構造用合板下地 既存のまま 厚0.27 長尺ガル鋼板波板張り 既存のまま、一部 撤去 (X7~X9付近)、一部 取外し・再使用 (X0~X7付近)、厚0.27 長尺ガル鋼板波板張り、屋根下地：撤去 (X0~X7付近 軒先一段) 45×24
開 口 部	住宅用783サッシ等 既存のまま、周辺リコネリング 既存のまま、撤去 軽量パラス式シャッター SS-1、カーテン：引分けビニールカーテン 既存のまま	そ の 他	
軒 天	屋根材現し 既存のまま		



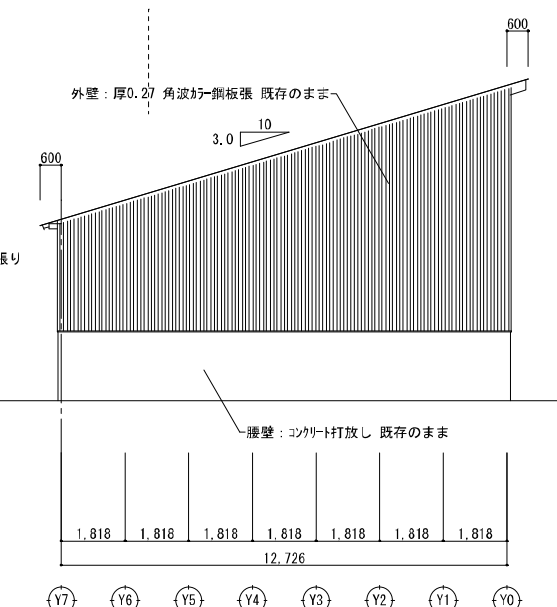
< 南面 >



< 東面 >

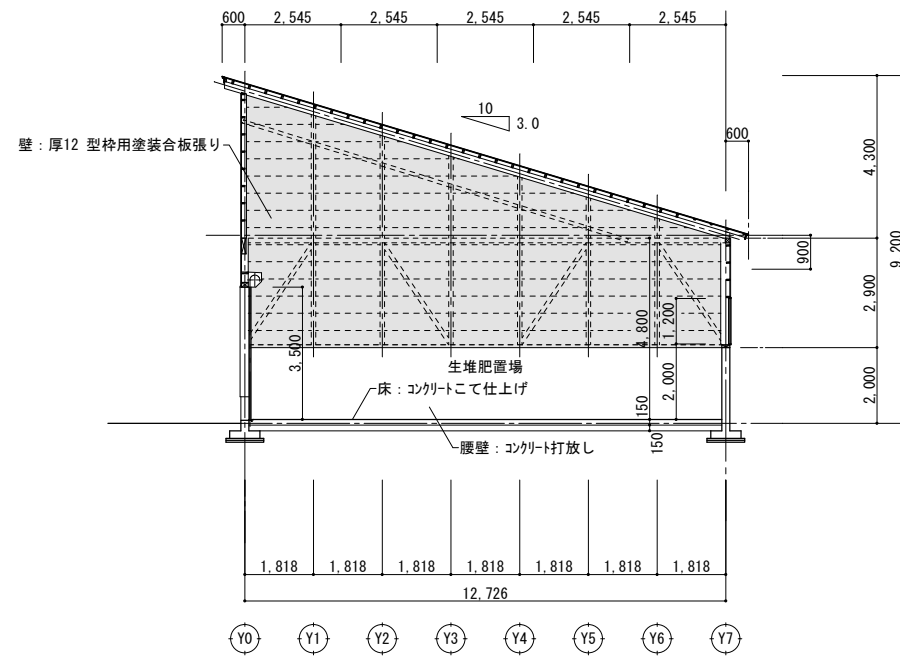


< 北面 >

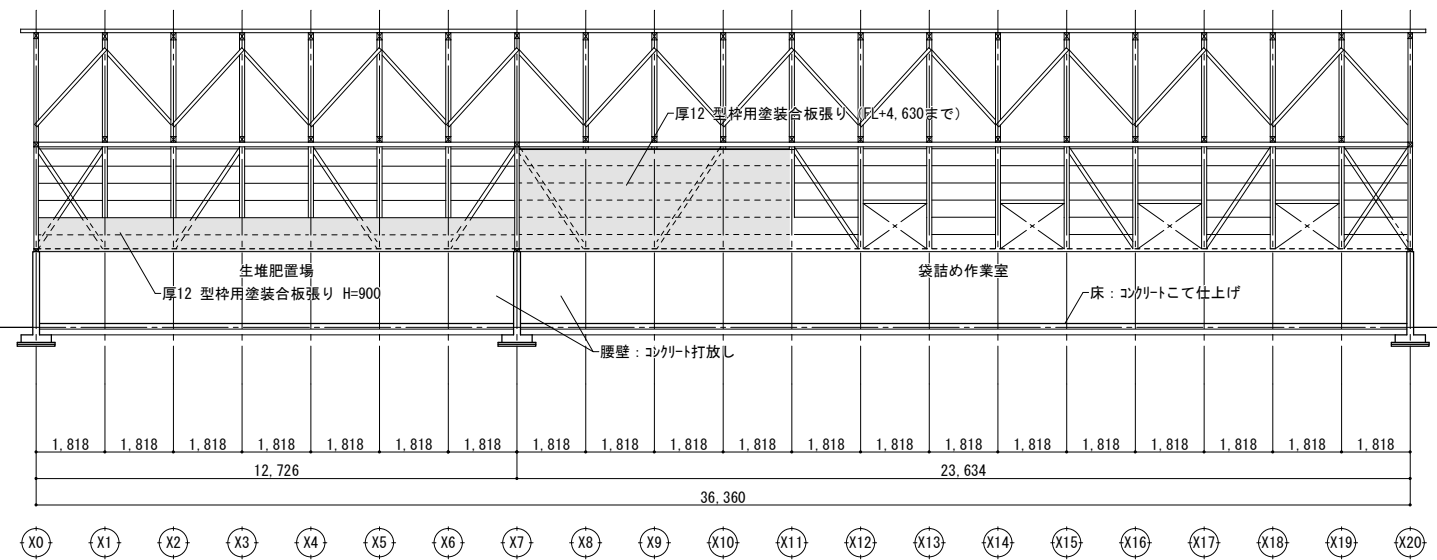


< 西面 >

堆肥舎棟 立面図【現況】 S=1/100

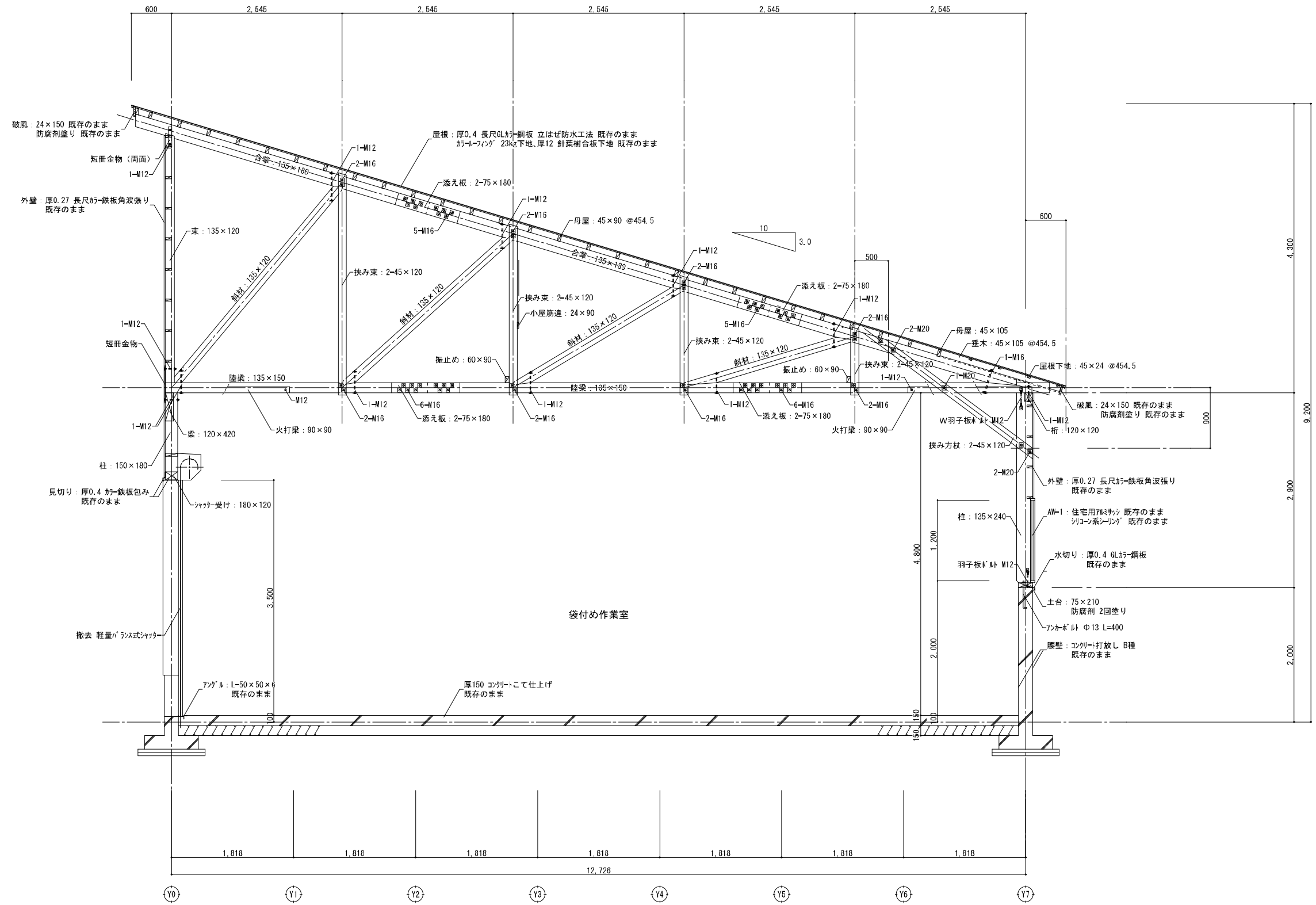


< X7通り >

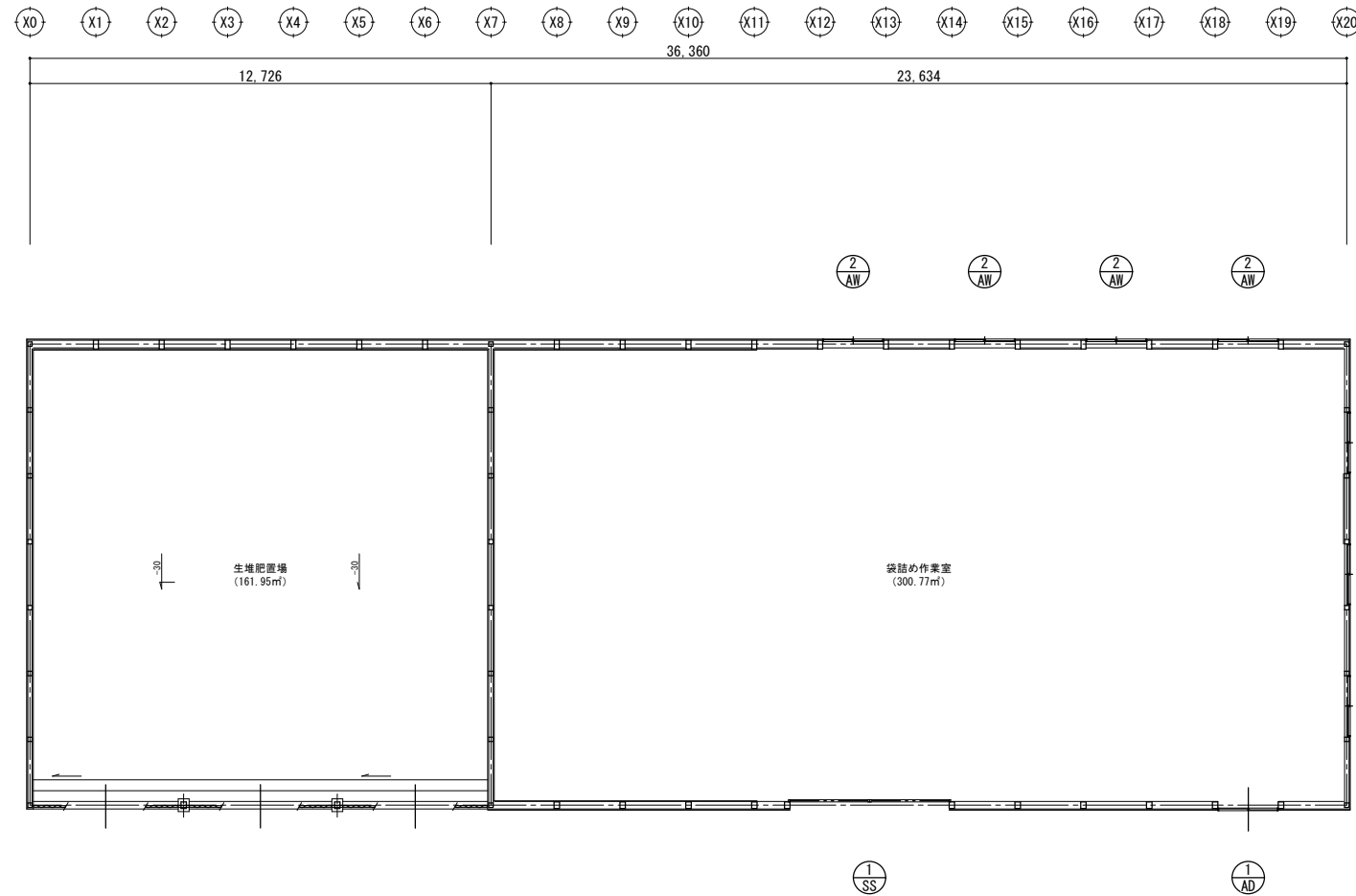
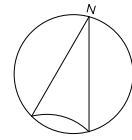


< Y7通り >

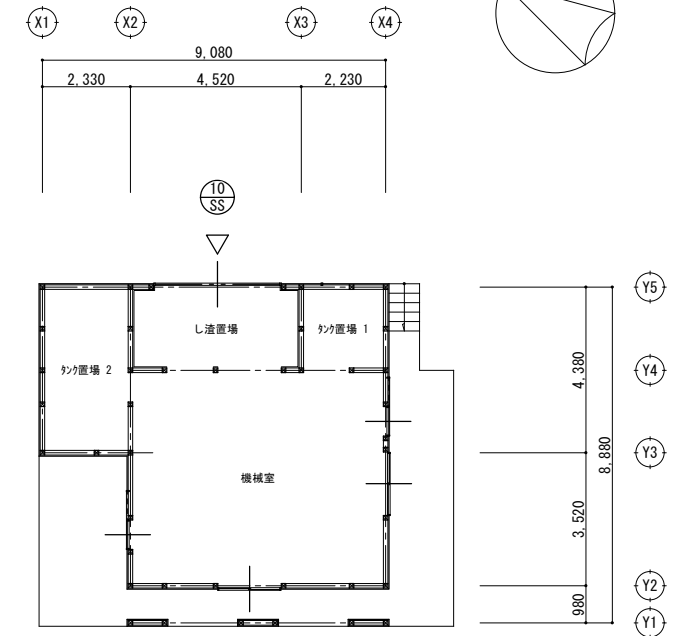
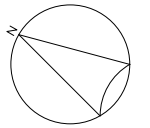
堆肥舎棟 断面図【現況】 S=1/100



堆肥舎棟 短計図【現況】 S=1/30
(X9通り～X20通り間を示す)



堆肥舎棟 キープラン【現況】 S=1/100



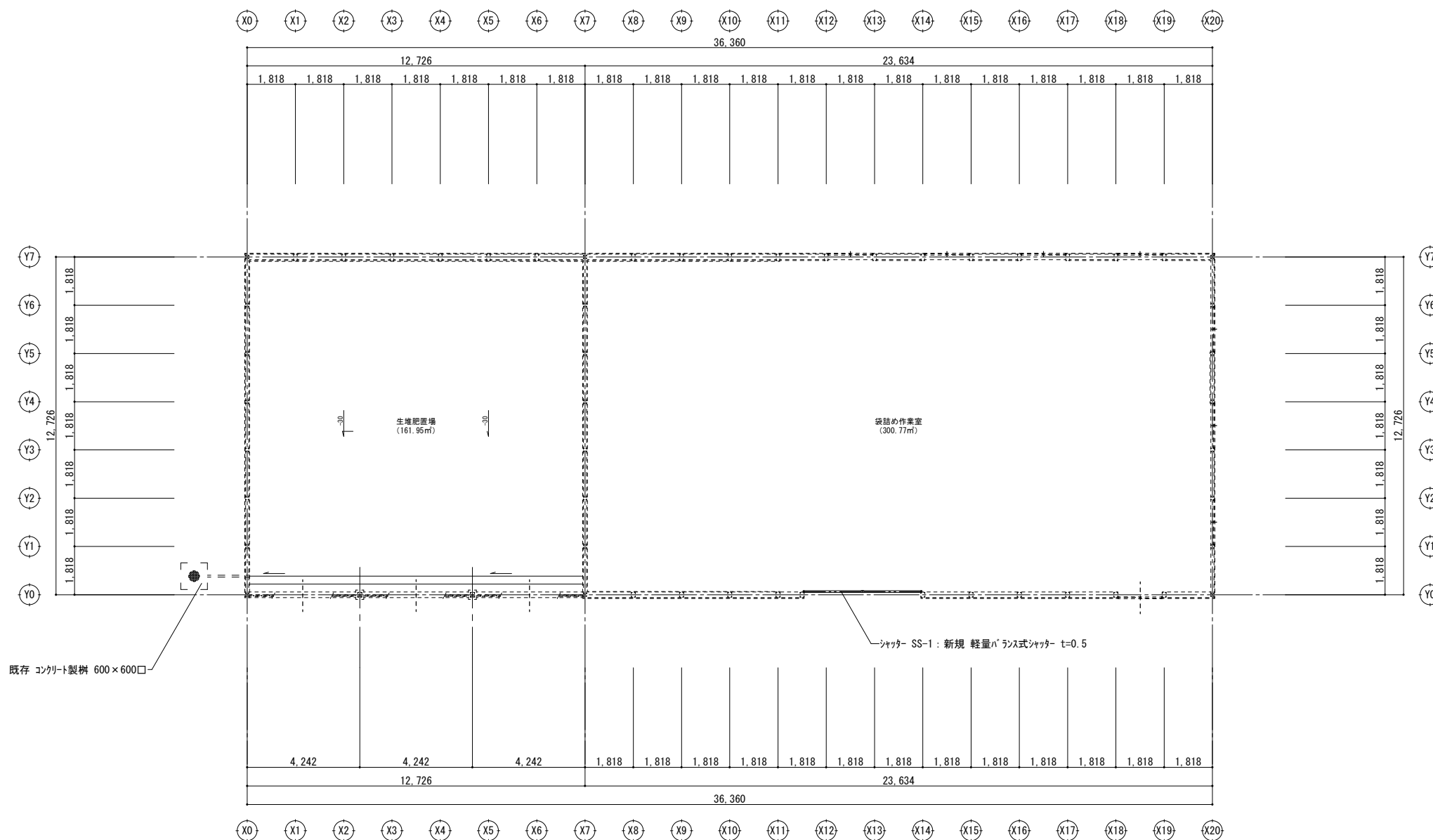
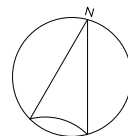
浄化処理施設 キープラン【現況】 S=1/100

建具表 S=1/50

符号・数量	1/AD 堆肥舎 (袋詰め作業室)	数量 1	1/AW 堆肥舎 (袋詰め作業室)	数量 3	2/AW 堆肥舎 (袋詰め作業室)	数量 4	1/SS 堆肥舎 (袋詰め作業室)	数量 1	10/SS 浄化処理施設 (シ渣置場)	数量 1
姿 図										
形 式	引違い店舗戸		引違いアルミサッシ (住宅用半外付けタイプ)		引違いアルミサッシ (住宅用半外付けタイプ)		軽量パランス式シャッター		軽量パランス式シャッター	
見 込										
材質・仕上	アルミブロンズ		アルミブロンズ		アルミブロンズ		厚0.5スラット (スチール製)		厚0.8スラット (ステンレス製)	
硝 子	上部: 3mm透明、腰: アルミパネル		3mm透明		3mm透明					
金 物	シリング錠、下枠ステンレス、付属金物一式		3連用パネラー (SL50 ※ステンレスワイヤー)、付属金物一式		4連用パネラー (SL50 ※ステンレスワイヤー)、付属金物一式		中柱、水圧開放装置 (2か所)、付属金物一式		ステンレス製レール、ステンレス製座板、外部露出ケース、シリング錠、付属金物一式	

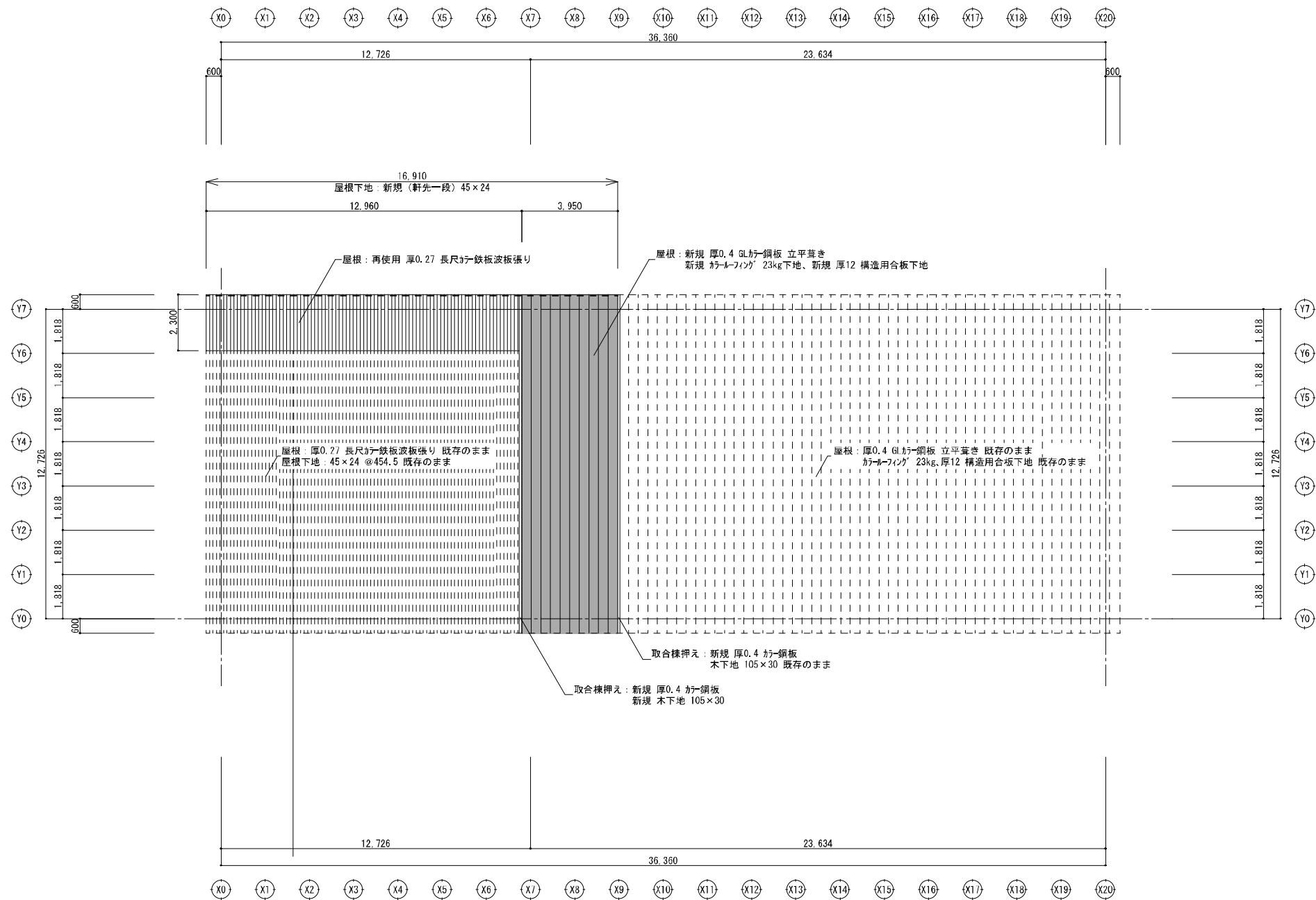
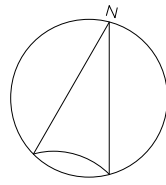
内部仕上表

室名	床	床高 (G L +)	幅木	壁	天井	天井高	備考
袋詰め作業室	厚150 土間コンクリート こて仕上げ 既存のまま	100	-	基礎、腰壁：コンクリート打放し 既存のまま 腰上：X7通り 厚12 型枠用塗装合板張り (小屋裏まで) 既存のまま 腰上：Y0通り・Y7通りのX7通り～X11通り間 厚12 型枠用塗装合板張り (FL+4,630まで) 既存のまま	軸組表し 既存のまま	-	
生堆肥置場	厚150 土間コンクリート こて仕上げ 既存のまま	100	-	腰壁：コンクリート打放し 既存のまま 腰上：3方向 (Y7通り、X0通り、X7通り) 厚12 型枠用塗装合板張り H=900 既存のまま	軸組表し 既存のまま	-	



堆肥舎棟 平面図【改修】 S=1/100

凡例
 —— 実線は改修部分を現す
 - - - 点線は既存部分を現す

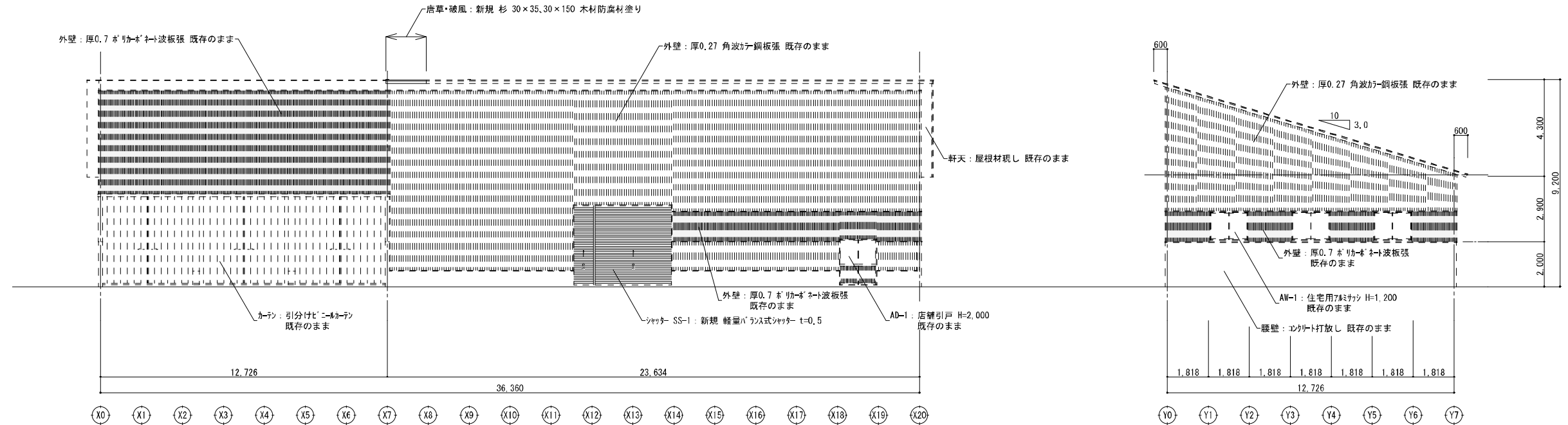


堆肥舎棟 屋根伏図【改修】 S=1/100

凡例
 — 実線は改修部分を現す
 - - - 点線は既存部分を現す

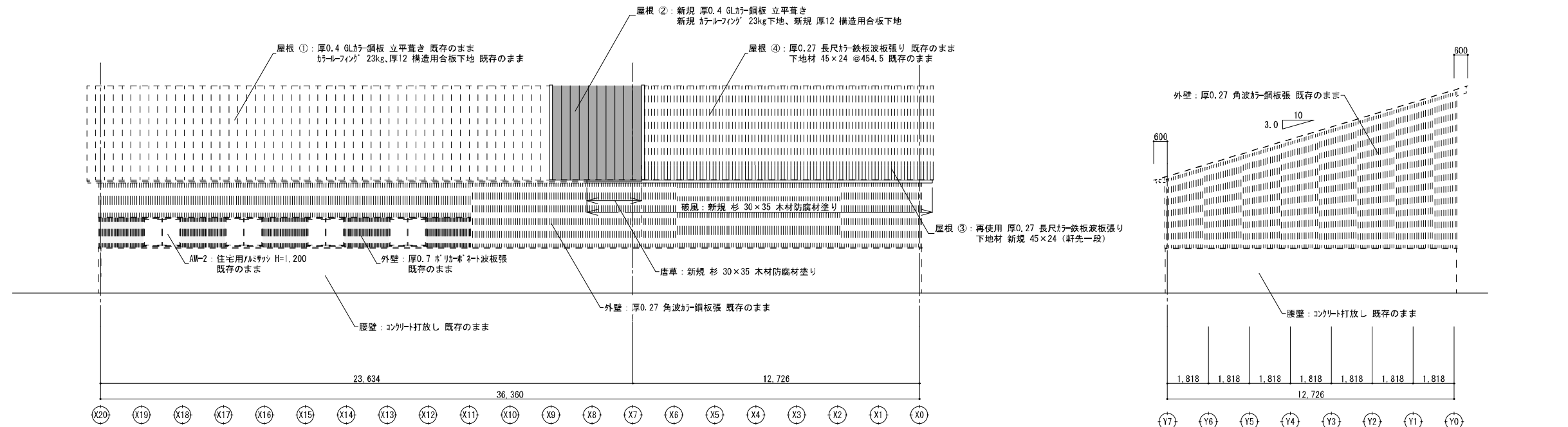
外部仕上表

基礎・腰壁	コンクリート打放し 既存のまま	破風・ケラバ	一部 米松 30×150 木材防腐材塗り 既存のまま、一部 新規 米松 30×150 木材防腐材塗り (Y7通り X1~X8間付近)
外 壁	水切り：厚0.4 ガー鋼板 既存のまま ＜北面、南面、東面＞：厚0.7 丸波長尺カーボネート波板張り 既存のまま、＜東面、西面、南面、北面＞：厚0.27 角波カー鋼板張 既存のまま	屋 根	①厚0.4 GLカー鋼板 立平葺き 既存のまま、 <i>カールフィンク</i> 23kg下地 既存のまま、厚12 構造用合板下地 既存のまま ②新規 厚0.4 GLカー鋼板 立平葺き、新規 <i>カールフィンク</i> 23kg下地、新規 厚12 構造用合板下地、取合雨押え：新規 厚0.4 GLカー鋼板、新規 木下地 105×30 ③再使用 厚0.27 長尺カー鉄板波板張り (X0~X7付近) <i>スパンス</i> 入、屋根下地：新規 45×24 (X0~X7付近 軒先一段) ④厚0.27 長尺カー鉄板波板張り (X0~X7付近) 既存のまま、下地材 45×24 既存のまま
閉 口 部	住宅用7尺サッシ等 既存のまま、周辺リボン系シリング 既存のまま、撤去 軽量パラス式シャッター SS-1、カーテン：引分けビニールカーテン 既存のまま	そ の 他	
軒 天	屋根材現し 既存のまま		



< 南面 >

< 東面 >

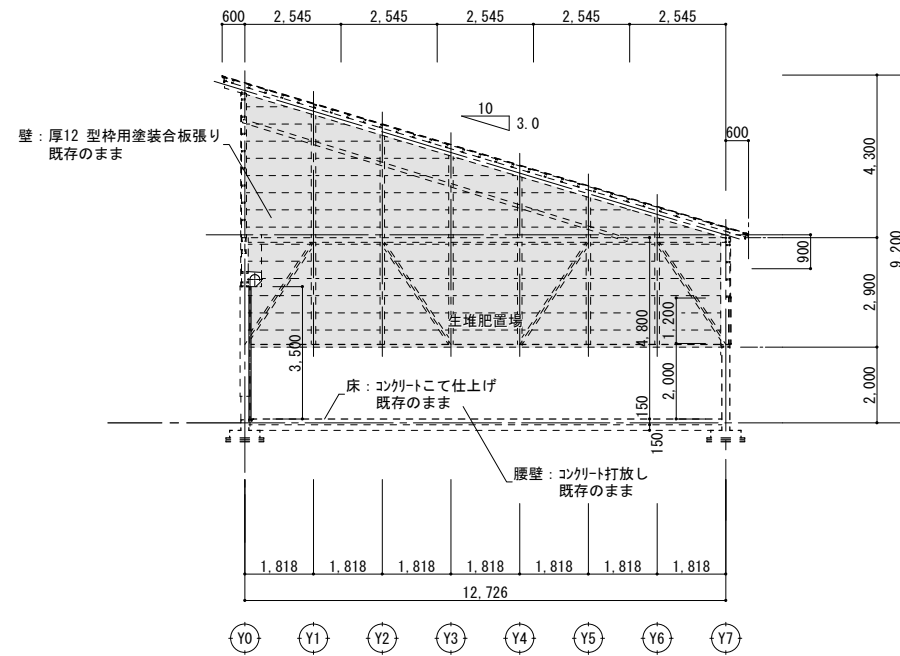


< 北面 >

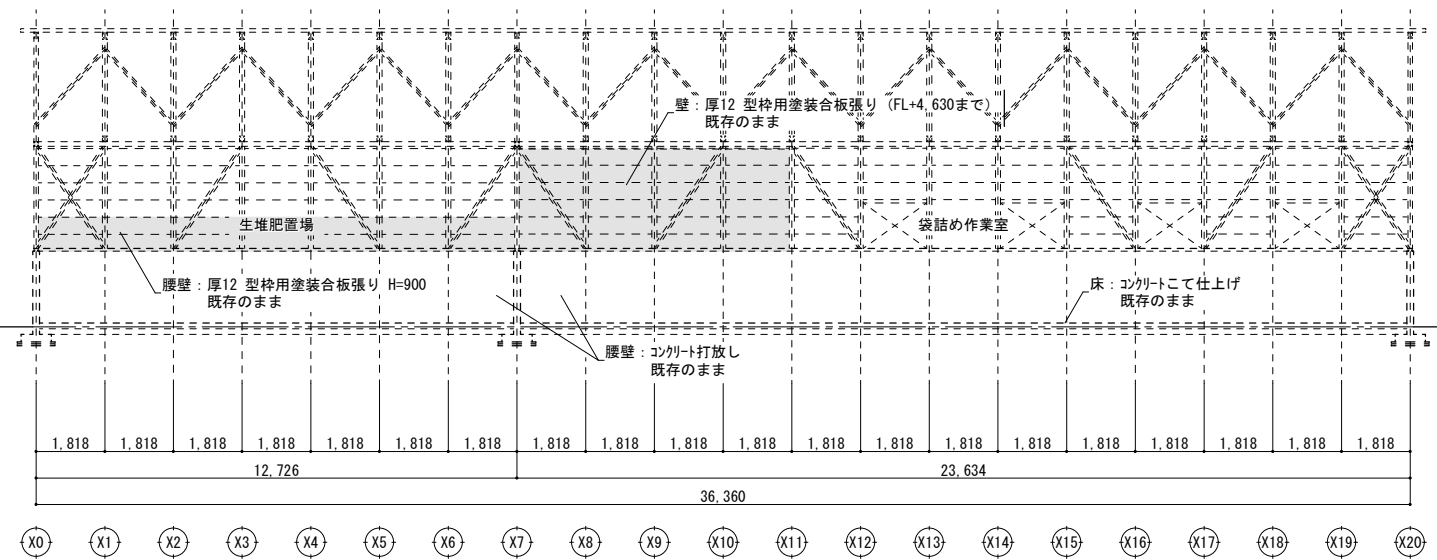
< 西面 >

凡 例
 —— 実線は改修部分を現す
 ---- 点線は既存部分を現す

堆肥舎棟 立面図【改修】 S=1/100



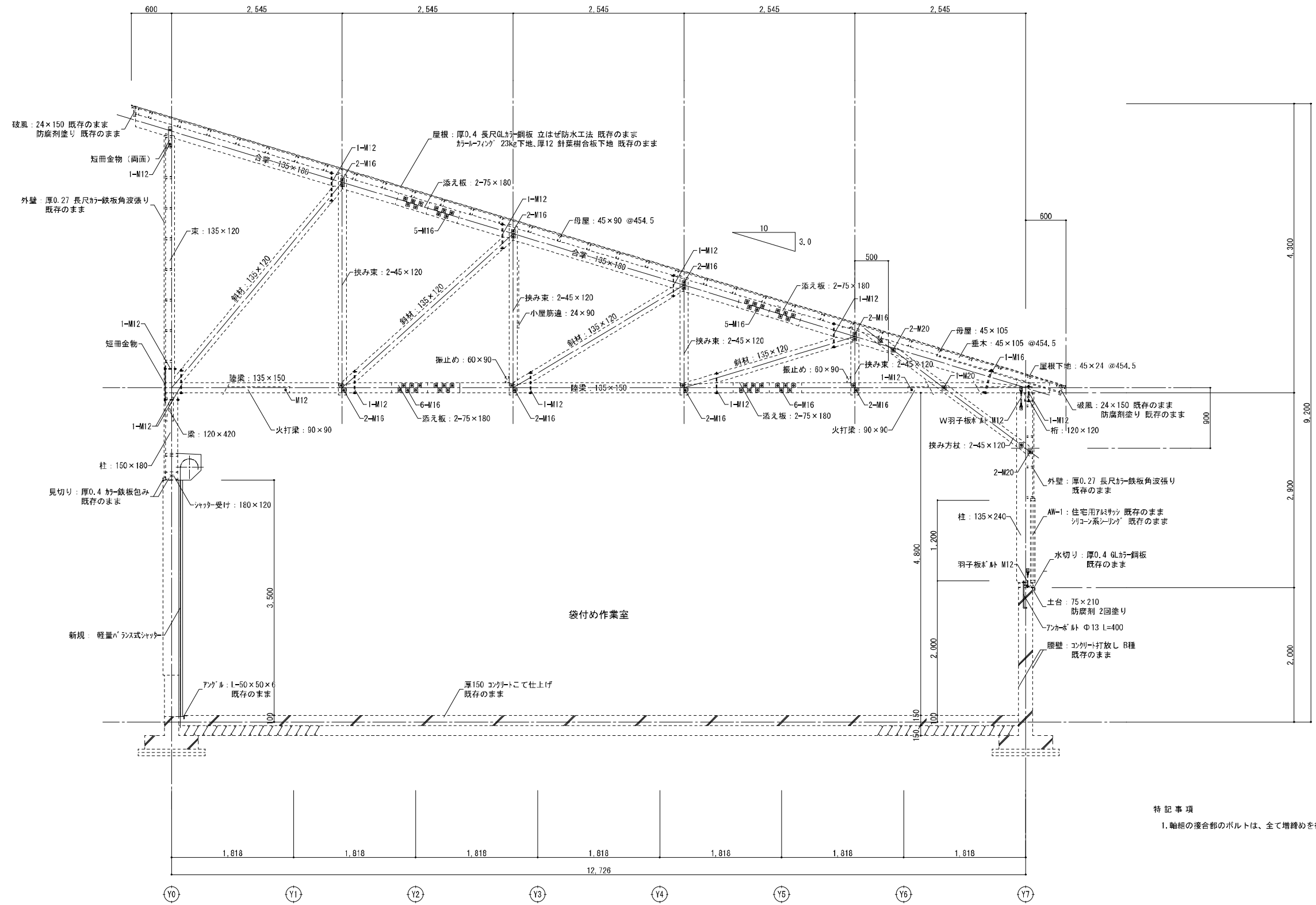
< X7通り >



< Y7通り >

堆肥舎棟 断面図【改修】 S=1/100

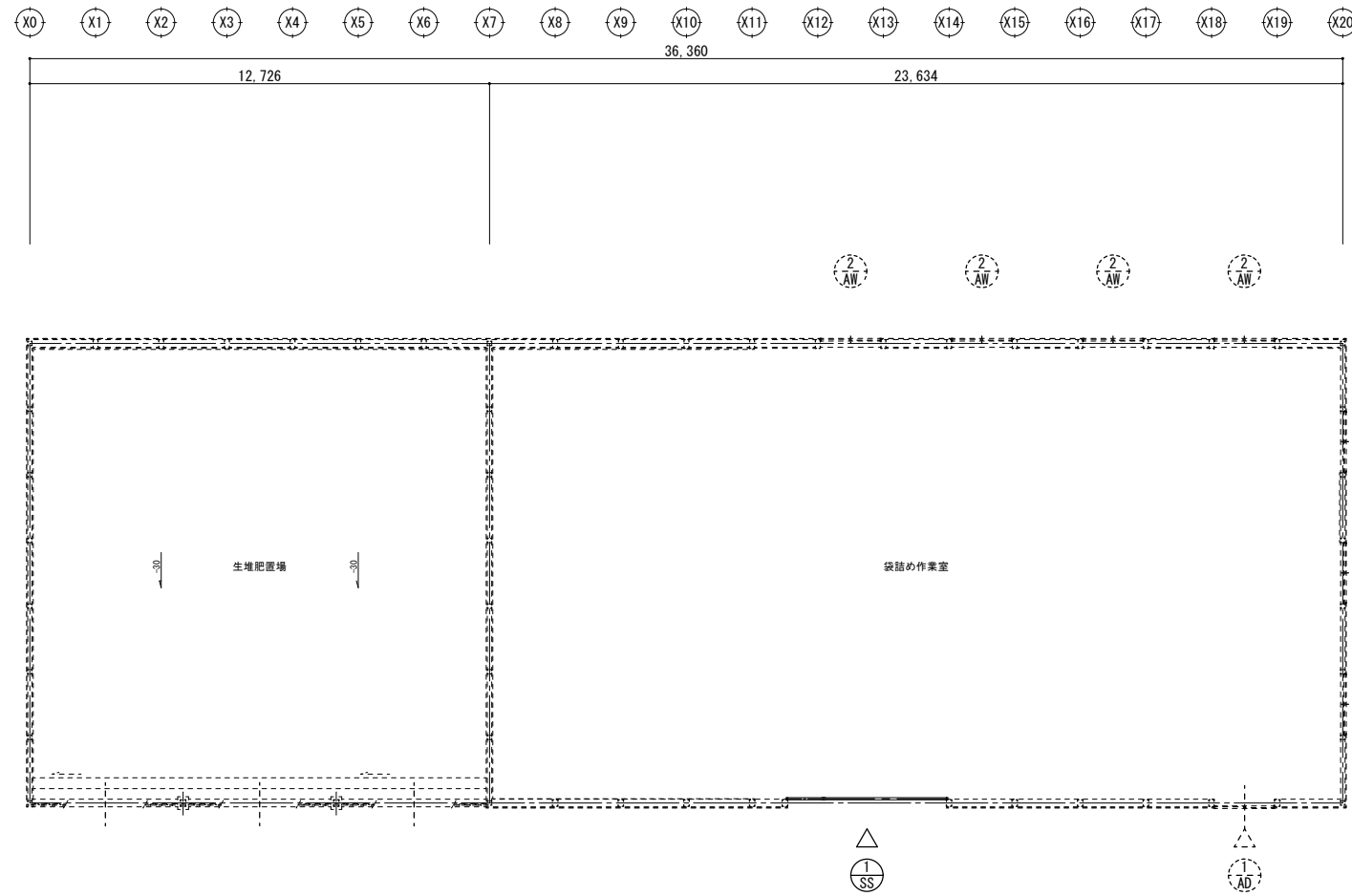
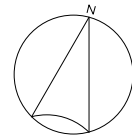
凡例
 —— 実線は改修部分を現す
 - - - 点線は既存部分を現す



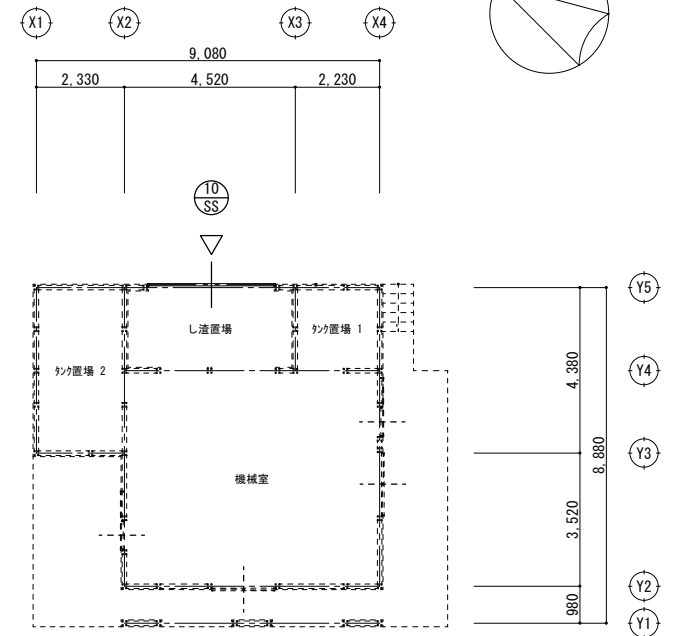
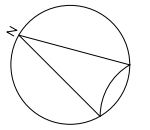
特記事項
 1. 軸組の接合部のボルトは、全て増締めを行うこと。

凡例
 — 実線は改修部分を現す
 - - - 点線は既存部分を現す

堆肥舎棟 矩計図【改修】 S=1/30
 (X9通り~X20通り間を示す)



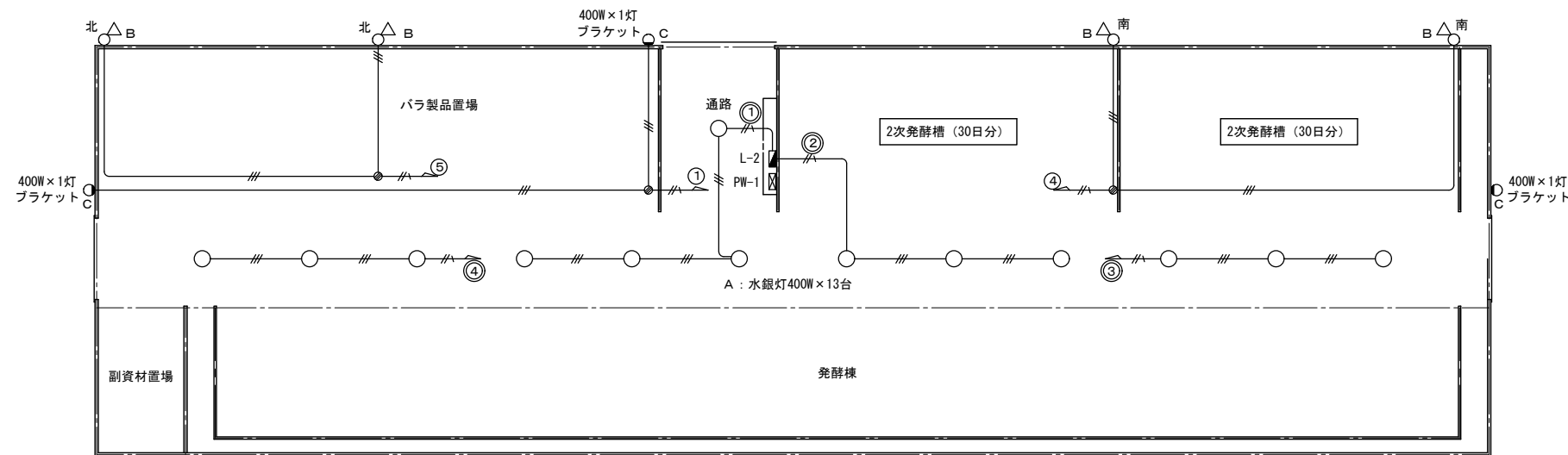
堆肥舎棟 キープラン【改修】 S=1/100



浄化処理施設 キープラン【改修】 S=1/100

建具表 S=1/50

符号・数量	1/AD 堆肥舎 (袋詰め作業室) 数量 1	1/AW 堆肥舎 (袋詰め作業室) 数量 3	2/AW 堆肥舎 (袋詰め作業室) 数量 4	1/SS 堆肥舎 (袋詰め作業室) 数量 1	10/SS 浄化処理施設 (し遺置場) 数量 1
姿 図					
形 式	引違い店舗戸 : 既存のまま	引違いアルミサッシ (住宅用半外付けタイプ) : 既存のまま	引違いアルミサッシ (住宅用半外付けタイプ) : 既存のまま	軽量パランス式シャッター : 新規	軽量パランス式シャッター : 新規
見 込					
材質・仕上	アルミブロンズ : 既存のまま	アルミブロンズ : 既存のまま	アルミブロンズ : 既存のまま	厚0.6スラット (スチール製) : 新規	厚0.8スラット (ステンレス製) : 新規
硝 子	上部 : 3mm透明、腰 アルミパネル : 既存のまま	3mm透明 : 既存のまま	3mm透明 : 既存のまま		
金 物	シリング錠、下枠ステンレス、付属金物一式 : 既存のまま	3連用パネラー (SL50 ※ステンレスワイヤ)、付属金物一式 : 既存のまま	4連用パネラー (SL50 ※ステンレスワイヤ)、付属金物一式 : 既存のまま	中柱 (補強付き)、水圧開放装置 (1か所)、内部露出ケース : 新規 付属金物一式 : 新規	ステンレス製レール、ステンレス製座板、外部露出ケース、シリング錠、付属金物一式 : 新規



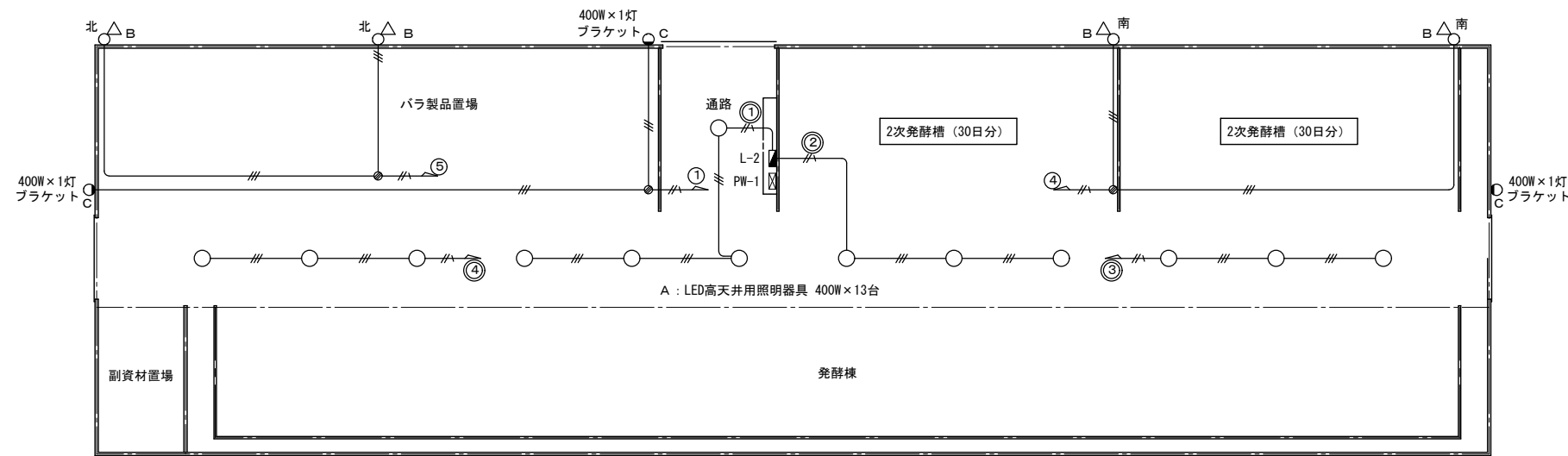
凡例

記入なき配線は、下記の通り。
 --- EM-EEF2.0-3C (撤去) (配管 既存のまま)
 --- EM-EEF1.6-3C (撤去) (配管 既存のまま)

発酵棟 電灯盤(L-2)	屋内壁掛型・FRP製 (撤去)
電灯回路	
主開閉器	ELB3P75A
分岐回路	リモコンレカ 2P20A 200V 4個
	MCCB 2P20A 100V 6個
その他	リモコンス
	端子台 10P 接地端子

発酵棟 既存 照明器具姿図 <既存撤去>

A MF400W (200V)	13台	B 投光器 100形	4台
<p>本体：アルミダイカスト チエーン吊 (SS) 透明強化ガラス アルミ (内面アルブライト処理)</p>			
C FL40W×1 防湿型・防雨型	3台		



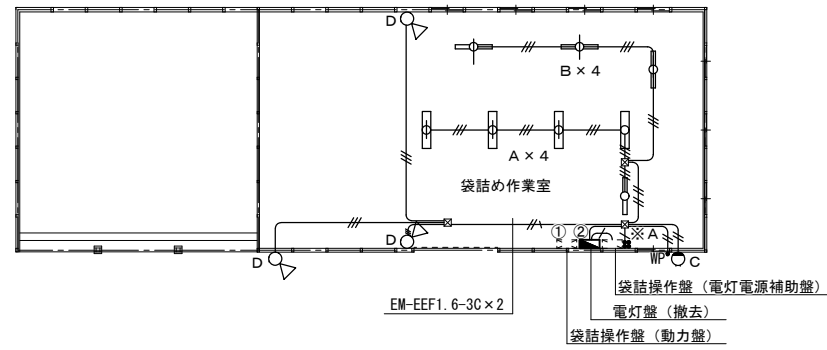
凡例

記入なき配線は、下記の通り。
 --- EM-EEF2.0-3C (新設) (配管再利用)
 --- EM-EEF1.6-3C (新設) (配管再利用)

発酵棟 電灯盤(L-2)	屋内壁掛型・FRP製 (新設) ※新設盤は既設同等程度とする
電灯回路	
主開閉器	ELB3P75A
分岐回路	リモコンレカ 2P20A 200V 4個
	MCCB 2P20A 100V 6個
その他	リモコンス
	端子台 10P 接地端子

発酵棟 照明器具姿図<新規>

A LED高天井用照明器具 特殊4環境向け	13台	B LED投光器 400形相当	4台
<p>LED内蔵、電源ユニット別置、特殊4環境向け (軒下・粉塵・高温・オイルミスト環境) 光束2100lm、消費電力130W、電圧100~242V 昼白色、5000K、Ra70、光束維持率60000時間 (光束維持率85%) 本体：アルミ、パネル：飛散防止強化ガラス アーム：亜鉛鍍銀 (ニッケル・クロムメッキ) 防塵型式・防塵型、保護等級IP65、防湿タイプ 天井直付型、落下防止ワイヤー付、器具本体 (4.9kg) ※パナソニック 高天井×YM2042LED9種商品</p>		<p>電源内蔵型、ワイド配光 光束1250lm、消費電力88.7W、電圧100~242V 昼白色、5000K、Ra70、光束寿命6万時間 (光束維持率80%) 本体：アルミ (シルバーメタリック) パネル：ポリカーボネート (透明つや消し) 保護等級IP65、防湿タイプ 落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15KV ※パナソニック NYS15370LED9種商品</p>	
C LEDウォールライト400形 防湿型・防雨型	3台		
<p>LED内蔵、電源ユニット内蔵 防湿型・防雨型 5000K、Ra83、光束寿命40000時間 (光束維持率85%) 器具光束2210lm、消費電力19.9W、電圧100~242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート (乳白) 天井直付型・壁直付型、保護等級：IP23 ※パナソニック NNF41800CLE9種商品</p>			

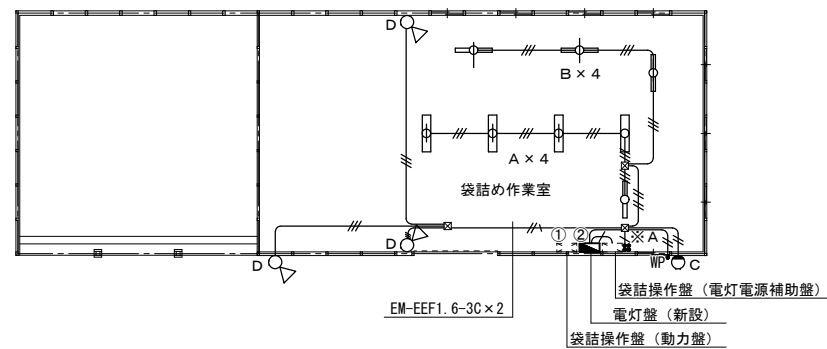


- 凡例
- 記入なき配線は、下記の通り。
- ①② ⅠV2.0×5 (撤去) (配管 既存のまま)
 - ※A ⅠV1.6×5 (撤去) (配管 既存のまま)
 - ⅠV2.0×3 (撤去) (配管 既存のまま)
 - ⅠV1.6×4 (撤去) (配管 既存のまま)
 - ⅠV1.6×3 (撤去) (配管 既存のまま)
 - ⅠV1.6×2 (撤去) (配管 既存のまま)
 - ⅠV14sq×3 (撤去) (配管 既存のまま)

袋詰棟 電灯盤 ②	屋内壁掛型・FRP製 (撤去)
電灯回路	
主開閉器	ELB3P30A
分岐回路	MCCB 3P30A 100V 1個
	MCCB 2P20A 100V 5個
その他	リリカースへース付き
接地端子	

堆肥舎棟 照明器具姿図<撤去>

A	FL40W×2 反射笠付型	4台	B	FL40W×1 反射笠付型	4台		
C		FL20W 防雨型	1台	D		RF投光器 400W	3台



- 凡例
- 記入なき配線は、下記の通り。
- ①② EM-IE2.0×5 (新設) (配管再利用)
 - ※A EM-IE1.6×5 (新設) (配管再利用)
 - EM-IE2.0×3 (新設) (配管再利用)
 - EM-IE1.6×4 (新設) (配管再利用)
 - EM-IE1.6×3 (新設) (配管再利用)
 - EM-IE1.6×2 (新設) (配管再利用)
 - EM-IE14sq×3 (新設) (配管再利用)

袋詰棟 電灯盤 ②	屋内壁掛型・FRP製 (新設) ※新設盤は既設同等程度とする
電灯回路	
主開閉器	ELB3P30A
分岐回路	MCCB 3P30A 100V 1個
	MCCB 2P20A 100V 5個
その他	リリカースへース付き
接地端子	

堆肥舎棟 照明器具姿図<新設>

A	LED直付型40形 反射笠付型 防湿型・防雨型	4台	B	LED直付型40形 反射笠付型 防湿型・防雨型	4台		
C		LEDウォールライト20形 防湿型・防雨型	1台	D		LED投光器 400形相当	3台